

**北の物販倶楽部
謁見音声 書き起こし資料**

2016年1月23日 謁見収録

はじめに

◎【推奨環境】

このレポート上に書かれているURLはクリックできます。できない場合は最新のAdobeReaderをダウンロードしてください。（無料）

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

◎【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。下記の点にご注意戴きご利用ください。

- ・このレポートの著作権は『北の物販倶楽部』に属します。著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。
- ・このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。
- ・このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。
- ・このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。
- ・このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

真田 孔明：

2,000万円、2,000万円、引っ張りました。

北野会長：

2,000万、引っ張った？

メンバー：

はい。

北野会長：

どうも、どうも、おめでとうございます。

メンバー：

ありがとうございます。

北野会長：

冷たい手の女が好きです。

メンバー：

ああ、ありがとうございます 笑

北野会長：

ぜひ、今度、結婚を前提に・・・ 笑 これが一番大事なところでしょ？お、どうも、お久しぶりで、いやいや。まず、飲み物から。

店員：

乾杯はですね、スパークリングワインをご用意して・・・

北野会長：

いいね。

店員：

シメのお食事がお寿司の盛り合わせか、お茶づけかをお選びいただけまして。お茶づけがホタテです。寿司は4貫ついております。恐れ入りますが、最初にお選びいただいてもよろしいですか？

北野会長：

最初に。それはちょっと無理やろよ。

真田 孔明：

全員、寿司のほうがいいですかね？4貫。別々だと。

サッチェル：

別々でもいいんですか？

店員：

別々でも大丈夫です。

真田 孔明：

まだ来ていない人もいるから・・・

北野会長：

半分半分や、ハーフ&ハーフ。

店員：

半分半分。

北野会長：

すごい着地点。何でも持ってこられま、タダのものを・・・そんなこと言うて。正月からみんな勝った人ちょっと手を挙げてみられが。バンと一発いったぜみたい。一発したけど、株では一発、勝ち上がらんだなきゃ。

メンバー：

全然ダメですね。

北野会長：

本当？何や、みんな三振バッターばかりかよ・・・あかんの。それは何のための演説会かの？この間、あんな俺、必死にしゃべったのに。あんまり。

メンバー：

おっしゃっていたんですけど。

北野会長：

みんなほとんど聞きやからね。

メンバー：

年末に弾が切れちゃってそれ以来・・・

北野会長：

お前ら、何かこうやって聞いとったらみんな、弾切れ早いな。

真田 孔明：

息が上がるの早い 笑

北野会長：

精子も切れとるんでなかろうな？あかんの。僕の報告を先にさせてもらおうと。ずっと木曜日の4時まで、肩がさ、もうくっくるに回ってさ・・・全勝や。昼からもうブランデーを持ってきて・・・ここまではよかったんやて。家に帰ってシャワーをかぶって、ああ、もうさすが昼の酒は効くなみたい。ひよっとさ、チャンネルを変えて7番を入れたらさ。日経プレミアムやっとな。最初はマイナス、プラス80円で売れたのね。木曜日の夜。

サッチェル：

今週の木曜日ですか？

北野会長：

いや、昨日一昨日さ。次に見たら、今度プラス110円って出るんがて・・・こんなお前ね。俺はさ、9,000円まで下がると思ってさ。

メンバー：

えー。

メンバー：

9,000円まで！

サッチェル：

本当ですか。

北野会長：

これはお前、おかしいんでないかと、そんなことね、またガタガタって今、来るよと、こう思っとな。どんどんどんどんここが上がっていくわけよ・・・先物が。俺はお前、空売りしとるし、最後にお前、280円プラス。さっきまで酔って顔、真っ赤やったのにさ。スーっと青くなってさ。おい、明日、またこれどうするんやと思った瞬間に、もう飲んだブランデー全部パーやったわ。次の日の朝まで寝れんが。内気、内向的やからさ。純情やから、心が。心臓がドキドキとするわけよ。昔みたいに2,000円とかさ、高くなる日も昔あったから。あの嫌な感じがよみがえってさ。あれ、覚えといてね。みんな空売りかけとるって新聞に出とったやろ？日経に。

サッチェル：

出ていました、はい。

北野会長：

ね。あれみんなね、例えばこれ全部、今まで空売りしとったと。孔明が手を挙げて「明日はね、全部、清算するぞ」とこう言うたらどうする？これ、お前、全部、建てをさ、売りを解消してみ、お前どういうことになる？

サッチェル：

上がりますよね。

北野会長：

上がるやる？そんなお前、だから重りを外したみたいなる。ダーっとうやって上がってってしまう。怖いんやて、だから、売りの怖さちゃ。とりあえず。はい、明けておめでとうございます。

メンバー：

おめでとうございます。

北野会長：

ことしよろしく。こんなでも、たくさんメンバーがおって、俺、何もだから。当てたやつおるなと思っとったんやけど。

サッチェル：

それで、月曜日の朝に手仕舞いですか？

北野会長：

月曜日って。

サッチェル：

間違えた。金曜日。

北野会長：

月曜日は明日明後日やぞ。

サッチェル：

金曜日の朝イチに。

北野会長：

金曜日の朝・・・もう清算ばっかりだ。全部清算せんらんからさ。俺はもう、ずっと思いつてさ、1万5,000円・・・。1万円ぐらいまで9,000円まで下がって、どっかでそんなようなこと

書いてあったからさ。大船に乗ったつもりで勝負しとったらさ、とんでもない話だった。もう少しでお前、心筋梗塞で死ぬところやったわ。

サッチェル：

最初に売り建てをかけたのは、会長、4日の日にかけたんですか？

北野会長：

前の、正月前にかけた。

サッチェル：

ええ、正月前にですか？ 凄い。

北野会長：

いや、何かほ。中国がもっと変でないかっていうような記事がいっぱい出とったやろ？

サッチェル：

年越し前にポジションを取っていたんですか？

北野会長：

そうそう。ポジション。

サッチェル：

ええ～

真田 孔明：

今回ちなみにあれですよ？現物株、株でやられたんですよ。

北野会長：

今度は、先物買いしとったんやけど。先物は2発目ぐらいで手引いて。俺の得意技で持っとる株を全部いっぺん売って・・・損したよ一部は。それで、持っとる銘柄わかつとるから、ずっと見とる銘柄やったから、全部売りにかけとく・・・全部、空売りや。清算するときひどい。もう朝から何度も・・・本当に焦るよ、あれ。

サッチェル：

あの金曜日、900円以上戻りましたもんね。

北野会長：

朝だから、売る。俺、300円で絶対これはね。プラス100円ぐらいで終わるような気がしとったんやて、本当は・・・気持ちは。

サッチェル：

だけれども、手仕舞いをかけた。

北野会長：

だから未練残すな、金残せやて「ま、いいわ、いいわ」と。

真田 孔明：

その前まで連勝をしているから。

サッチェル：

連勝している分があるから。

北野会長：

わかる？この欲の加減が。

サッチェル：

あれ我慢して見ていたら、死んでいますよね。それね。九百いくらまでいっちゃったら・・・これ。

北野会長：

きょう、欠席よね。

一同：

爆笑

北野会長：

お前、あれ900円まで持って行かれるまでだったら、お前、心筋梗塞で死ぬよ。900円ちゃ、どんなでかいダメージやと思うてる？

真田 孔明：

そうですね。

北野会長：

そうやる。

サッチェル：

すごい。そこは判断がすごいですよね。

北野会長：

だから、判断はパンパンといかにゃあかんやて。それでね、今このメンバーが誰も買っとらんいうから。ま、はっきり言うけれども。こう勇気、実行、行動力と、この三つを線、縦の線につながんと、これは永遠に誰も勝てんぞ。これは。でも、風はみんな、風は読めとったやろ？何かね。原油まできたらヤバイなっていうものはみんな思っていたんやろ？きっと。どう？お前、何か1人でスマッとしとるけど。お前、本当は勝ったんでない？本当は。

メンバー：

もうチビチビです。

サッチェル：

勝っていそうですね。何かね。

北野会長：

ねえ。

サッチェル：

勝っていそう。

北野会長：

何か1人で・・

サッチェル：

勝っていそう。

北野会長：

俺はもっといいところに行ったんだよみたいな顔しとっから。ああいうのは大体ね、顔を見るとね、わかるんやて。大体ね、顔に出るからね。大体、一番勝ちそうなタイプ。さっきから部屋で言うとったんや。何かね、いつもツンとしとっから。最初は何か、投信の利回りのときも一人でちゃんと知とったから。俺、こんな難しいこと知っている。最初から何か投信のことも知とったよね。そこらも。

メンバー：

やっていましたので。

北野会長：

そうやろ？ああいうね、悪いやつ。わかっと思ってこう聞きにきとるいうやつね。あれ、本当は確かめにきたのでないかなと、最近、不安のがやてね。あなたの言うとおり、私も考えとるほうがもっと正解やとかさ。案外思っとるタイプやぞ。柄が悪そうやしな。一人で帽子をかぶっとるし。自分だけ暖かいやろ 笑

サッチェル：

すごいな～売れなかったな。

真田 孔明：

資金管理を・・・その前に

サッチェル：

だけど、4日、5日、6日ぐらいまでは売り、やろうと思えばできた。

メンバー：

できましたね。

サッチェル：

でも、下がったから買っちゃったんですよね。下がったら買う。

北野会長：

買った？

サッチェル：

はい。

北野会長：

それでええがや。

サッチェル：

いいんですか？

北野会長：

それでええがや。だんだんこうバンバンと。

サッチェル：

バンバンバンと2回まで買っていったんですよ。

北野会長：

途中、全部買ったわけ？

サッチェル：

全部、下がったら買ったんです。

北野会長：

それ違った。

サッチェル：

それ違いますか。

北野会長：

下がり。だから三寒四温やる？3回下がったら、普通は買う場面なんやて。それがね、上りの三寒四温いうて、一番最初から言うたんやけど、3発下がるんやて・・・下がり。それで暴落8発下がるんやて、8発。昔から決まっとる。暴落8発、言うてね。これから8発が出とる。わかった。8回やぞ。でもほとんどね、下りは大体3発、下がるんやて。そんで、株が上り調子のときは、4回上がる。4日。だから三寒四温の原理ってこういうわけ。

サッチェル：

1回、勝ち上がったときがあったじゃないですか・・・1月に。あそこで終わりなのかなと思ったんですよ。ダンダンドンって、一回ガンって戻って。

北野会長：

いいとこ言うね。あの500円プラスやる？

サッチェル：

そうです。そうです。そうです。

北野会長：

俺、あの時に・・・俺は・・・

サッチェル：

終わったなと思ったんですよ。

北野会長：

終わったんじゃないくて。俺は反対に、こんだけのこのね、風景では、まだ下りがあっから、あの頂上でもう1回売ったんやて。

サッチェル：

売ったんですか？

北野会長：

俺はあのときに、次の日下がったやる？

サッチェル：

下がりました。また。

北野会長：

俺、あのときに思ったんやて。とうとう普通の熊からブラックベアになってと、やっぱり俺はすごいと。そんで、木曜の3時の相場までは胸張って生きとった。夜のプラス280円見てからもう。酔いは冷めるは、体はくるわね。いや、これはやられたなと思ったよね。

サッチェル：

嵐は、会長は今どう見られていますか？この上がりの嵐。

北野会長：

いや、今ほ。今、プラスに転じたやろ？これ何でプラスになったかいって言うたらヨーロッパや。これヨーロッパの金、印刷出すよとこの前に言うた。

サッチェル：

言いました。3月にはやる。

北野会長：

そうやろ？これね、やるいうだけで、こういうものなんやて。今度、下がり。今度、空売りの話を今日するやろ？それで恐らく、今度すると、みんなで空売りするやろと。そしたら孔明いわくはここがまたおもしろいんやて。今度、日本がみんなバンと空売りしたときにさ、日銀が200兆、緩和とかいって 笑 すごいよね。これをやられたらもう終わりよ。だから、この辻斬りっていうのはこの怖さっちゃん、ものすごいでかい。わしでもションベンちびるようになるがやから。ビビって。

サッチェル：

嵐はどうなんですか？もう治まってきた感じなんですか・・・大分。

北野会長：

いや。

サッチェル：

まだ行きそうなんですか。

北野会長：

やっぱりヨーロッパが、あこでブレーキをかけると、俺は思うんやけど、そんなに俺ね、6.7%弱やろ？6.9やろ？経済成長が・・・どっかでほかの国でお前、6.9やら7やら、お前、伸びとる国なんてないぞ。あれ正常のがやて。悪いけど伸びすぎやと俺は思っとる。じゃ、日本はお前、あんたら日本人、何パーセント伸びているの？

メンバー：

0.5、0.1?

北野会長：

そうやる?0.1。プラスマイナス0やで。その日本人がお前ね、中国人の僕に・・・そんなことないわ。中国に住んでいるのはこの人だけか。俺はね、もうアメリカよりも・・・腹の中はよ。中国のほうがキツイと思うとる。絶対に伸びていくのは中国やよ。人件費が安いやる?人口、多いやる?敷地でかいやる?やっぱし中国のほうが・・・俺はね。それしか経済はないなと・・・経済は。

サッチェル：

じゃ、まだ嵐は吹いている感じなんですか。

北野会長：

嵐は、吹くよりも一発ブレーキがかかると、日経に書いてあったやん。今売とったらは、青い目の外人と、あとは日本人の個人なんやて・・・空売りしとる。だから、日本にはほとんどの人は昔、1回株をやめとるの、わしらの世代で。みんな、あの暴落にあってさ。死んだものと、ダンプの前に飛び込んだ人が多いんやから。だから、その中で残っとるいうたら、俺と一緒にベアタイプが残っとるんやて。ベヤじゃないよ・・・ベアや。ベヤならいいんやけど。年老いたベアが残っとっても嫌だけど結局そこやて。俺が言うのは。ね。だから、結局勝負かかるのは、これからやる・・・本当のところは。国の実力で勝負かかるか俺もはっきりわからんけど。でも、おもしろいレースやる?もし、どういうの、400兆ドルと、400兆元が印刷が増えとるわね。日本は、80兆、80兆、80兆ってきとる。今度、ヒロツパでまた印刷するわけやる?そしたら、金の価値なんてほとんどねえやて、これは俺の考え方やけど、金の価値がなくなってくる。金が出過ぎとれば。昔はさ、1ドルで1gの金くれたとかさ、ここから金って発祥しとるみたいなもんやからさ、これも全部そんなんやて。だから、まあ、とりあえず俺は、さっき孔明に言うったのは、とりあえずいっぱい借金をしてやな、返さないと。紙は紙くずのやから。

サッチェル：

そうですね。

北野会長：

A4でも買ってきてさ、切り刻んでさ。それぐらい思うとらんと、うまくいかんでないかなと思うわ。真実はどこにあるのか、まだ、わからんもんね。

真田 孔明：

来週あれですよ。アメリカの経済の発表と。

サッチェル：

FOMC。

真田 孔明：

あと、日本の日銀の・・・

サッチェル：

原油も何か急に戻ってきたじゃないですか？ここ。

北野会長：

俺（お酒）

メンバー：

ありがとうございます。

北野会長：

これワイン？

店員：

ワインです。

北野会長：

これ何を食べとるのかははっきりわからんけど・・・ワイン。

店員：

赤白どちらで？

北野会長：

きょうは白から行こうかな、ボトルで・・・安くておいしいやつね。安くてまずい女は弱るやろ。
やっぱり安くておいしい、やさしい女がいい。

真田 孔明：

ここ飲み放題ですよ？

北野会長：

飲み放題なの？

店員：

はい。

北野会長：

早く言ってよ。

真田 孔明：

グラスで用意？

真田 孔明：

白ワイン飲む人？

北野会長：

はいはい。

真田 孔明：

飲み放題なので。

北野会長：

全部、持って来てもらえばいいやないかい。そんなもんね。残ったら俺が飲むから大丈夫。俺、そのために来とるんやから。

真田 孔明：

飲めない人は？

北野会長：

大丈夫。飲めない人も飲む。

メンバー：

ボトルでこの辺に置いてもらうことってできるんですか？

店員：

かしこまりました。白でよろしいでしょうか。

メンバー：

はい。

メンバー：

会長は元を買ったりはしないんですか？

北野会長：

元？

メンバー：

はい。

北野会長：

元は買っとらんね。

メンバー：

今じゃなくて、将来的にタイミングがあったら買おうかなとは考えていない？

北野会長：

元で預金は持っとるんやよ、上海に預金持っとる、1億ほどの銭やけど。やっぱ通貨分散やかから、とりあえずね、ユーロも持っている。当然ハワイでドルを持って・・マレーシアではリングを。

メンバー：

分散的な感覚で元を持っているみたいな感じ。

北野会長：

そうそう。俺はただ借金をして、日本の利息のほうが安いんやてね。それで、例えばマレーシアが何パーセント？

真田 孔明：

4%。

北野会長：

4%ほどや。うちが借りとるのはコンマ6ほどやから。その差額でま、儲かると。たったそれだけ。そんなね、難しいこと考えて生きとるわけではないから。ほとんどほ、返す気も余らないし。反比例しとるんやて。増える借金、減る信用ってこう。どこか反比例しとる。これを何かこうXのように見えない？増える借金、減る信用。簡単な発想やからね。借金は増えていくけれども、信用はどんどん下がっていくよと。これでクロスしとるのね。でもね、これぐらい銀行から借金しとっても、木刀を持って来たりさ、チャカを持って来たりした人は誰もおらんいうことやちゃ。僕の幸せなところは。だから、最近はどちらかというと、どんどん使ってくださいと。言うほどに俺は支店長の裁量でね、3億、支店長、枠を持っとるなら3億寄越せと。僕は絶対に不義理はせんと利息は必ず払うからと。この一言で勝負しとるんやから。不義理はしない。利息はきちんと払うと。「いや会長、元本は・・」て。お前、元本の話までしたらお前、お互いに長生きできんやろ？。俺が明日、返済したらどうするがよ。もう人間関係が崩れるやろ。

サッチェル：

確かにそうですよね。明日、返したら。

北野会長：

そうやる？例えば1カ月後やぞ。「支店長、悪いけど、小切手切ったから持って行ってくれ」って・・・それでお前、人間関係が終わる。

サッチェル：

確かに終わりますよね。

北野会長：

そうやる。

メンバー：

確かにそうですよね。

北野会長：

お前、支店長でも経済でもお前、細く長くやるが？細く長くやっぱりつき合ったほうが得でないかなと。金利もだから・・・元本を返さんと楽なんやから。元本を返さんたら、いや、支店長ね、元本を返せないのはあんたのせいやと。だから、利息が高すぎるから元本に入っていかがやと。まずは利息を安くしなさいと、あんたはね。日掛け、月掛け、心掛け。チビチビと支店長、安くして・・・その分、また居酒屋でちょっとね、チビチビとなめながらやぞ。人生を語ろうじゃないかみたいなことをお前、言うだけタダやから、言わなきゃあかんやろ？ここがやっぱりね、正念場やぞ。あとは金っていうのは引っ張るだけ。あんなもんさ、死んでも誰も取りに来んっていうの。そうやる？まだそんな報道、世界でされとらん。

サッチェル：

死人からお金を取った支店長は確かにいないですよ。

北野会長：

ないやる。

サッチェル：

ないですね。

北野会長：

全然だから問題ないの、すました顔をして。「ご苦労さん」みたいなことを・・・いやいや本当に。

サッチェル：

本当にそうだと思います。

北野会長：

あれ会社さ、バンバン飛んとる。そうやろ？あんなもん誰も今、責任を取らんやろ？取ると思う？誰が。今、ファンドが中に入って、東芝とシャープの白物家電をくっつけて、何とかプラスにしたいと。政府もそこならあれで俺が聞いとるのは、何か3,000億から5,000億ほど弾を入れて。おかしんでない。お前、そんなもん、つぶれれ・・・実際、あんなもの潰れてしまつとる。実態は。そんなもんにお前、政府が3,000億から5,000億、弾を出す言うたらお前、結局はあれは印刷やからやよ？違うの？俺はそう思つとるんやて。これは俺の言い分やからわからんけど。孔明、お前えらい食べるの早いんでない？

真田 孔明：

笑

北野会長：

お前、ストレス食いたら太るぞ。

メンバー：

支店長の粹とかは、聞いたりとかはしているんですか？流れて聞けたりするもんですか？

北野会長：

必ず聞かやちゃ。「いや、何か支店長、えらいい男やし、力ありそうやね。粹、何億、持つとる？」当たり前やろ。ここが一番要やから。お前ね、そこの川の横におる乞食にお前、銭貸せいうとつても何もくれんやろ？銀行の支店長ちゃ、あんなもん責任のない貸しつけやないかいな。あれ、俺が払わんだって、支店長がクビになるわけやねえやから。ババ抜き知つとる？ババ抜き。あれと一緒にさ。ババがおるやろ？この中に1枚。お前、支店長や。ババがどっかでパチンって止まるやちゃ。ここで止まった、この人はクビや。俺が借りて、この人がそのときの支店長や。だからクビやて。この人もだからはしかいから、そんなことないですよ。そんなもんね、元本を返さん1億、あんたに1億5,000万貸すと・・・俺にね。1回、1億、返してくれ言うがやちゃ。はしかい支店長はみんなそう言うてる。1億5,000万、融資を受けるやろ？1億パンと返す。それで隣の人が今度、支店長・・・そうやろ？ 笑 ここで無理に回収なんてするとお前、俺が飛んでイスタンブールになるやろがよ。責任を取るのはこの人なんやちゃ。孔明さんは切り抜けたんやから。

真田 孔明：

自分で爆発してほしくないからね。中にはバカな支店長がいるわけですよ。そういう。

北野会長：

だから、人間はだから二通りそうやっておるわけや。ババ抜きやから。チャチャチャチャチャチャ。ピンって帽子のところで止まれば帽子の支店長がいなくなるだけ・・・世の中みんなそう。だから、東芝にしたって一緒やろ。今の社長、なったところやから何も知らない。でもね、今3人ぐらい訴訟がかかると。俺はね、この間も言った。悪いことをしとるやつはね、

ヨーイドンから悪いことをやっとなっちゃ。だから、東芝の創業したときからやっとなわけよ、あれを、わかる？

真田 孔明：

じゃなかったら、サラリーマン社長がそんなこと、大それたことできるわけないですよ。

北野会長：

先代が、最初の創業者が俺みたいなやつやったんや。笑 お前、赤字よりもお前、黒字にしておけと。

真田 孔明：

東芝のほとんどの会議が架空だった 笑

北野会長：

いや、あんたは今、笑ったけど、そうでない会社じゃ知っとる？あんなもほどあやふやなもんないぞ。決算書を作るやろ？これ1,000万マイナスになったんや。簡単、在庫を1,000万余計にあったってここに書くがやて。それでプラスマイナス、チャラさ。これに、いや、これは屏風や・・これ1,000万の屏風や。プラス1,000万の会社やこれな？屏風ほ、試算価値1,000万やから、わかる？まず、あんたらは、今、言うたこんな簡単なゲームを覚えておくべきや。売買されたもの、これね1,000万なんやけど、800万でどうや、これ800万でいいんやて。すごい価値のあるものなの・・すごい価値のあるもの。800万でお前、買ってくれるんなら携帯電話を一つつけてやればいい 笑 こういうような話なんやて。資産なんていうのは、資産価値っていうのは伝票で決まる、数字で決まる・・全部そう。数字っていうのはみんなそんなもん。だから必死に売ったり買うたりなんかする必要はないが。流れに沿って死なないようにしとれっていうのはそういうこと。そんなね、物の売り買いをしてこんな重たい物を持って走っとったってさ、そんなにひどいだけやぞ。1個売って1,000円しか儲からんもんをさ。そんな必死に働く必要はないっていうことを俺は一生懸命言っとるんやけど。ここプラチナやっただかい？何を言うても。大丈夫やと思うんやけど。現状と借金のレートと、最初から返さんから貸してくれいうたらあかんよ。ちゃんと最初は清く正しくやっぱり返すと。ただ、できたらすぐに返すのはひどいから6カ月間だけ。6カ月間だけ。お前、女にも言っとるやろ？今日、1回だけさせてくれいうて。その「だけ」と同じ。「だけ」だから・・わかった？

真田 孔明：

言っただよ 笑

北野会長：

そういうことなんやて。だから、何でも頼まんよりも頼んだほうがいい・・6カ月。借りたものをすぐにさ、返せいうたってひどいやろ。だから、そういうやっぱり考え方を脳に植え付けておくのとさ、わからんのはもう天と地違う。ねえ、さっきワイン何とかかんとか言わなかった。

真田 孔明：

今、来てます。

北野会長：

来月は、何かバンコク行って、あんた暇ならパタヤビーチも来る？

メンバー：

ちょっと長めに取っています。

北野会長：

さすが。

真田 孔明：

3月末はもう1回、日本で。

北野会長：

4月あたり香港で。

真田 孔明：

香港いいですね。

北野会長：

香港か、香港、一発やとっから、台湾に行って来るか？

真田 孔明：

台湾いいですね。台湾いいですね。

サッチェル：

台湾、行ってないから、台湾いいですね。

北野会長：

俺を筆頭にしてみんな、ほとんど心は清く正しく美しく。宴会・・・話はなるべく軽めで。6時から2時間コースで8時やね。あなた8時になったら、スタンバイをかけてやな。だから初日はどうやね。パニヤの近くでホテルを取って。2日目はどっかスクンビットあたりに行って。それでワンツーで演説会は終わりと。それでもう1日どっかスクンビットか、パニヤかどこかで遊んどって。4日目ぐらい、1、2、3、3日目あたりから、パタヤビーチへ入る。

真田 孔明：

もう飛行機、取っちゃっていますよね？

メンバー：

一応26に入って2日に帰る形で。

北野会長：

わしらの友だち、みんな今、向うに行っとるんやけど。みんなほとんど1カ月ギリギリまでおる。みんなほとんどそう。歳も歳やし人生は短いと。こういうことになっとるわけよ。

メンバー：

楽しみだな。

真田 孔明：

白ワインもう一つ。

店員：

はい。かしこまりました。

北野会長：

俺のが少なかったんでない？（ワイン）今日、結局どうするの？この。下がりの話をどう理解。理解しようとする人がおるが。みんな弾切れならさ。でも一つ結果としてみんな、わかったことがあると思う。株はね、弾で勝負なんやちゃ。これ弾、切れたらそれで終わりなんや。ゲームとしては。これがはっきりわかっただけでもよかったんでない？

メンバー：

身に染みて思いました。

北野会長：

今年じゃ、ずっとこの空気の話をしようか？みんな、やっぱりほとんどね、試験に出すとみんなわかっと思う。正月周りの話をさ。どう考えてみてもあれは上がるムードじゃないなっていうのはわかるやろ？下がるかもしれないっていう、でもね、中国がおかしい、アメリカは利上げした、原油は暴落しとる。どう見てもお前、要因が出てこんやないかい。おいしいところが。Kが緩和せ、あこまで聞いてあんた、でも株は上がるやろ言うて、そんなバカな。それはただのバカやわ。だから、あれ聞いとれば、ほとんどそういう不安感はあると思うんやて、みんなが。だから、それわかっと思うけど、結局、体がさ・・体が。信用いうボタンを押すやろ？次に売りいうボタンを押せんだけのがちゃ、本当はね。誰も1,000株も売りはかけたことねえやろ？恐らくは。俺ね、本当にそう思ったんやて。さっきも言うtotたんやけど、孔明さん、こればっかりやtotたやろ。だから、みんなも何か脳の中にもうこればっかりでさ。だから、もうこっちで上がってしまって、こっちはね、やっぱりちょっとね、孔明さん、下がったときも、下がったところで買って、ちょっと上がったところで売ってって抜いとった現状が見えtotからみんなには。脳にそこがインプットされとるんでないかなと思うんやて、弱ったよね。昔

なんか、麻原の洗脳を解かんといかんの・・これ。麻原彰晃みたいなもんが一人おってさ。孔明さん、この前も暴落したときに何かFacebookで書いとったやろ？僕わからんからやめた。完成しましたって書いてあったやろ？今回もそれをやってた。

真田 孔明：

今回はね、塩漬けがあったから。もうこれ以上はやっちゃいけないと思って。

北野会長：

でも、それが一番、生き残る方法なのよ。

真田 孔明：

まだ、1年経っていないので・・始めて。6月から始めたので。とりあえず1年間生き残るのをまずは目標に。

サッチェル：

死んだら終わり。

真田 孔明：

死んだら終わりなんで。

北野会長：

そうそう。死にかかったら借りて、借りて。あのね、そういうね、こういう軽い、明るい考え方を持たにゃあかんよ。足の親指の爪を見てもね、絶対に幸せになれんが・・わかった？下向きの姿勢はダメ。何でも一応、言うだけは言うたほうがやっぱりいいんがやから。たとえおばちゃんでも、お嬢さんと。言えばお前、ご利益はあっかもしれんやろ。これは俺の言い分やから。ちゃんとお嬢さんとちゃんと肩でも組んでくるとかさ。

メンバー：

おきれいですね。

北野会長：

そうそう。一緒に1枚、撮らせてくださいとかさ。大事なことなんやて。肩でも揉みましょとかとかさ。一応、ああい男やったなと。おばちゃんも寝るときに、あ、顔を思い出して、ああいいな、あんな若いのと思うかもしれんやろ。間違い、気違い、勘違いちゃあっちこっちにあるもんなんやから。そういうことが大体ね、常識的にわかっとらんやつが株では勝てんやろの。でも、俺は本当に木曜日の3時以降がなかったら、きっとこの上で俺、踊っとるんでない？ 笑

真田 孔明：

肩が回りまくって 笑

北野会長：

いや、久しぶりにさ、ムっときたぜよ。何か爽やかなね、毎日が。いや、今年、何か五木ひろしになったのかな 笑

真田 孔明：

年始早々。しかも。

サッチェル：

今年は景気がいいぞと。幸先がいいぞ。

北野会長：

この間、議員会館で、ちょっと詫びを入れてさ。いや、今年はうまいこといきませんでしたみたいなことを代議士に謝ったんやて。清算してしまてさ。ま、悪いようなね、秘書連中は、会長、余りいいような話はないですねみたいなことを言うから、じゃ売りからかみたいなのを言うと思ったんやて。なもんで、とりあえず、先物をさ、何枚かかましてさ、ええわと思っと思った。そしたら、お前、正月ドボンから始まったやろよ、やったぜ。もうそこで2回ほどグッと油が回ったのに、それにほ、勢いづいてさ、おし、今回は踏ん張ってやるぞと。去年は先生方にも迷惑をかけたと。ここへもう一発、今、踏ん張ってみようと。行って来いや。負けても行って来いやから。あこの次の2発、3発、4発ぐらいドンドンと行ったやろよ？

サッチェル：

行きました。

北野会長：

俺あのときに何か大分、半分は我が世の春になったなと思った 笑 ひょっとするとウグイスが鳴くんでないかなと思うぐらい思ったんやけど、ウグイスは鳴かんだけど、いや、木曜日まで。だからあの500円プラスになったときに昔を思い出してさ、バンってもう行ったれと。力がもう肩に・・・後ろに・・・肩が後ろに入ったから、もうケンカ越しに行っとる。その次の日、ドボン、ドボン。

真田 孔明：

天才だと 笑

北野会長：

普通の熊じゃねえ。俺はもうブラックベアだ。まさしくと思った瞬間。その日の5時ぐらいまでホラ吹いとったのも。

サッチェル：

あそこまで下がるとは思わなかったですね。

北野会長：

俺は、あそこまで上がるとは思わんだわ。俺、もしこれ900円かぶっとるほんまね、今日、欠席や。恥ずかしい話やけど。

真田 孔明：

今回、儲けたうちのそこの上がった損は1割にとどまっているんですよね？

北野会長：

1割でない、もうちょっとある。

メンバー：

すごい。

北野会長：

1割そこそこやけど。あのね、違うんやて。拾った銭あるやろ？これ拾った銭や。ちょっと言うてよ先輩。落としちゃ銭ちゃさ、これ何か倍に感じるわの。

真田 孔明：

落としたときにショックがある。拾った銭より。

北野会長：

わかる？結構でけえや。

真田 孔明：

実際は十何パーだけど、気持ちは何か2倍ぐらい。

サッチェル：

どんでもない額を落としちゃったみたいな。

北野会長：

今日、こんなのなかったらと思ったら。あんたらちなら、100万単位やて。俺のところになったらもう何千万単位のがやら・・・波が・・・高さがね。稼いだ、稼いだいうて、何億しか俺は稼いどらんがよ・・・今回も。でもね、俺にしたらでかいんやて。たった二、三千万だって、孔明は何か割り算してさ、パーセンテージで言うから簡単やけど。それキャッシュに積んだらさ、間違っていますかね。この考え方。現実においたら金ちゃでかいんやて。

サッチェル：

そうですね。

真田 孔明：

確かに・・・マンション1戸帰るね。

サッチェル：

とんでもない額ですよ。

真田 孔明：

マレーシアのマンション。

メンバー：

普通に考えたら。

北野会長：

本当にそうやよ。

メンバー：

そうですね。

メンバー：

会長は、先物を見て、もうあれですか。朝イチでポジションを手仕舞いして・・・。

北野会長：

あのね、その日の前の日の、だから10時にプライムニュースが終わったんやて。その次に7チャンネルを入れたら、日経何とかが入っとるんやて。日経何とかいうのが入っとるんやて。あれお前、画面に最初、明日の先物80円って。俺の感じでは、明日の先物は200円、マイナスの。俺の頭は明日のね、先物マイナス200円、へたすれば500円。こう思って画面を見とるのに、画面は赤い。え、おいおいおい、冗談やないかと。誰がこんなバカな時期に買いを入れるがや。思っとるわけよ。ところがその推理がさ、80円、30円、80円、110円、160円、280円までついたらもう酔いが冷めてしまって。え、真っ青や。先物なもんで手仕舞いできんやろ？明日の朝、お前、もう番号、全部、控えてさ。口座番号控えて。みんな手仕舞いせんらんやろ。もう、焦る、焦る。朝、手が震えたわ。iPad早く始めみたいなもんでさ。

サッチェル：

逆に早く始めと。

北野会長：

そうやよ。朝、手仕舞いはしてしまったんやて。先物280円まで走ったから。終わったら900円やろ？

真田 孔明：

危なかった。

北野会長：

あれでいっぺんで肩の力が抜けてしまって。昨日まであの軽い肩が1回でもう氷ついた・・・ビ
びってしもうとる。

メンバー：

もう9時になって全部、手仕舞いして。

メンバー：

寄り付きでもう。

真田 孔明：

売りから入るって、始まらないと手仕舞いできないんですよね。あれね。

北野会長：

手仕舞いできん。

真田 孔明：

予約できないんですよね。

メンバー：

予約できないんだ。

メンバー：

もう朝、これですか。

北野会長：

手が震えとるんやて。

真田 孔明：

成り行きもできないじゃないですか。

北野会長：

早くやらないと・・・。

真田 孔明：

買戻しは。成り行きできないんですよ。

メンバー：

またゼロに戻るっていう、マイナスになるっていう希望的観測は持たないでもう・・・。

北野会長：

だから売るときも切るときも、やっぱり腹を決めたら、そこをバンと行くしか手はない。

真田 孔明：

そこでその勘が働いているのがすごい。

メンバー：

下がると思っちゃいますから。

メンバー：

朝、寄り付きってマイナス400円ぐらいだったんですか？

北野会長：

三百何十円やったか。三百七十、八十円じゃなかったかな。

真田 孔明：

プラスですよ。金曜日ですよ。

メンバー：

金曜日のプラス。

北野会長：

三百何十円だったか。俺だから、三百何十円でも、ま、これでね手仕舞いできりゃ、儲けはあるんやから。未練、残すな、金、残せ・・・何せ、早く始末。水子の霊かいやと自分でも思うほど焦るとるん・・・わかる？水子の霊。

メンバー：

オープンがゼロぐらいに戻っていたらどうしていましたか？

北野会長：

それでもあんだけ・・・

メンバー：

戻ったっていうことで・・・。

北野会長：

きっと切っとるやるね。

真田 孔明：

すごい。やっぱりこれが。

北野会長：

あの日、もうビビってしまとった・・・俺が。

真田 孔明：

1回ビビったら、やっぱり手仕舞いする。

メンバー：

なるほど。なるほど。

真田 孔明：

相場から引き揚げたほうがいいね。追い求めないで。

メンバー：

すごいね、決断力。

北野会長：

俺やら。俺ね、みんなそうやってよく言われるんだけど、全然違うの。決断力じゃなくて、どういうの？動物がさ、何か・・・

真田 孔明：

生き残ることを最優先にする。

北野会長：

襲われたとする。右に飛ぶか左に飛ぶかちゃ、動物やないかい。ほとんどそんなやて。そんな脳で考えて行動するなんて、全然そういう。

真田 孔明：

会長でも、もう発動している陽創門だから2択は外さないんですよね。こういうときにね。僕は、間違いなく罾の仕掛けてあるほうに行っちゃうんですね。2択の場合は。

サッチェル：

そうなんだよな。必ず外すんだよ。2択。

真田 孔明：

2択は。

北野会長：

2 択を必ず外す。

真田 孔明：

直観による 2 択。

サッチェル：

直観を外すんですよ。

北野会長：

俺はね、ほとんど・・ほとんど直観のやて。会社も融資も全て全部直観。本当、嫌な話やけど勘だけの。俺が一番大事なものは何か言うて、一番大事なものは俺にとって大事なものは勘のがやて。

真田 孔明：

やっぱりこれは。

サッチェル：

陽創門だ。

北野会長：

勘以外はもう関係ない、勘・・本当。考えて行動ということねえやから、孔明はいつも俺のことをそんなバカにしてさ。

真田 孔明：

バカにしていないですよ！

北野会長：

でもね、俺、このね、株の話も借金の話も孔明にもね、足かけ4年ぐらい前にいうた、4年間かかってやっと理解できてやぞ。自分がね、借金が力でしょみたいなことを最近書いてやぞ。趣味はお仕事、道楽は貯蓄やとか。何か最近わかってきたんやけど、たまに読むがメールに入るとるやつを。何か俺が言うとするような、一緒に単語が出てくる。

メンバー：

会長、月曜日はどうなりますか？月曜日の相場。

北野会長：

俺みたいやつはずっと売とったやつ。売とったやつは、俺と一緒にやて。手仕舞いすれば今、助かるんやから。でも、ここで。ここでもう1発、俺に勝負せ言うたら、俺は安全なタイプやから絶対ここでは空売りはせん。俺はそれこそ、孔明さんじゃないけど、手を組んで、あなた

を見つめとるだけで。俺はだから、月曜日から跳ね返るんでないかなと思う。これ全部、手仕舞いかけてみら。ものすごい速いよ。

メンバー：

みんな手仕舞いをしようと思ってるから・・・。

サッチェル：

結構、流れが変わったかなというのは会長は今、感じられているところですか。

真田 孔明：

そういうときに日銀も量的・質的規制金融緩和を発表するみたい。そういうのはないですかね？

北野会長：

いや、日銀はね、絶対に今はしない。

真田 孔明：

今はしない。

北野会長：

日本が本当に窮地に立ってきたら。バズーカーは飛ばんといかん。何でいうたら、このバズーカーがもし失敗したら、安倍さんがこれから。イスタンブールに行ってくるのは安倍さんやぞ、わしらじゃないぞ。わしらはトルコの旅費も稼げんでイスタンブールまで行けんから、絶対にそうや、絶対にそうや。日本は、最後の切り札は、最後のブラックカードやから。俺はブラックベアや。Kさんはやっぱりブラックやから。Kいうぐらいやから、腹黒いし、それはやっぱり土壇場で勝負かけてくる、最後の勝負は。あこで日本経済が何かあってさ。経済が危ないと。もう200兆を緩和すると。

真田 孔明：

大義名分のもとに。

サッチェル：

なるほど。大義名分。そうか、そうか。大義名分がないですもんね。戻っちゃったら。

北野会長：

大義名分を作るんやて。なのでKさんはもともとアジア局長やったから。今こそさ日銀のトップやよ。でも、つい数年前まで白川さんやとったときは、あれは窓際族やったんやから・・・彼は。ところがね、すごい。日本ではね、見とる人は見とるんやて。あのアジア局長した窓際族が、アジアに行ってから、フィリピン、一番ひどいのはタイ、香港は余り影響力はないんや

けど。それから当然マレーシア、それからインドネシア、あの経済が上がった。ものすごく上がった。誰がした人、あれや。えへへの。

真田 孔明：

もう本当にヘラヘラしていますよね・・・今も。会見とかニコニコニコして。

北野会長：

そうやる。あの人はね、ビビらないんやちゃ、全然ビビらんが。

真田 孔明：

多分、あの方って会長と似ているタイプの方じゃないですかね。何か。

北野会長：

似てとるんや。

真田 孔明：

創門なんですよ、彼。顔つきみて・・・。

北野会長：

人の銭やから、あの人も。俺も一緒やけど。両者の共通点はそこにある。

真田 孔明：

すごい楽しそうにやっている、常に。

メンバー：

珍しいですよ。

真田 孔明：

直観がすぐれていそう。

北野会長：

普通さ、やっぱり日銀の総裁ったら、青白い顔してさ。細々としゃべっとるのが日銀やないかいな。

サッチェル：

そうですね。今までの総裁は。

北野会長：

あの人、お前、見てみられ。おっぱいを触りながら記者会見でも、僕できます、みたいな 笑
あれが違うよね。

真田 孔明：

全然違います。

北野会長：

あのどういうの？あの迫力が違う。

真田 孔明：

何かもう笑顔と迫力がすごいですよね。やっぱり。

北野会長：

最後に必ず言うがないかい。来るべき時期が来たらやりますよ。

サッチェル：

躊躇なくやるって言っていましたよね。

北野会長：

躊躇なく。あの言葉一言で、日本経済は助かるわけよ・・・そうやる？今までのバカと違うのはあこが違うんやて。

真田 孔明：

ああやって言い切るのが格好いいですよね。

北野会長：

そうそう。言い切るから人が信用する。信じるものは救われるやろうよ。

メンバー：

みんながやと思っているときにはやらないっておっしゃるじゃないですか。ということは、今はまだ口で言っている、これが口で言っているのが反応しなくなったときに、やりどきののかなと。その考えで。

北野会長：

今でもね、今年、紙面で見たら、一番また儲かっとるのは日銀や。そういう人なんやから。アジア局長になってから一番タイの株を買うとった。日銀はアジアやから、すごいだから。

真田 孔明：

会長は直接、お会いしているんですよね？

北野会長：

俺は会ったこと何回もあるよ。

真田 孔明：

何回も。

北野会長：

わしの場合は、何かほ、どういうの？話を聞いたりさ、顔を見てまた会いたいなみたいなようなことを言うタイプなん。俺がこうやから、相手もだから一緒のことを。おおおお、君はどうかのこうのって言って。直観だけで生きとる。余りね、そういう履歴も関係ないやて。

真田 孔明：

相手も臭いを感じるわけですね？

北野会長：

そうそう。感じるものは同じやから。俺もほとんどそうやよ。だから今日パッとこうやって顔を見て、キャップをかぶっとる人が一番、何か悪いの。悪さから言うと・・・きっと勝った。でも、本当は言うてみ。勝ったかいよ？

真田 孔明：

勝ったんですか？株？

メンバー：

毎月チビチビですよ。

北野会長：

だから、チビチビやよ・・・チビチビはわかったけど。

メンバー：

買いです、買い。

メンバー：

買いで抜けているんですか？すごい

北野会長：

だから一緒に政策なんや、政策。それはお前、チビチビ勝つとれば、そんなに儲けはないわな。

メンバー：

はい。

北野会長：

でもお前、何か余裕あるような顔しとらんか？今日。何か1人で、何か余裕をこいとるよね。まさか今日は、お守りは嫌だからいうて、何か下を向いて・・・帽子もかぶっとるしさ。

メンバー：

今日は、さっきも言ったんですけど、前厄なので。

北野会長：

40ほどや、そしたら。50年生まれ？

メンバー：

51年です。

真田 孔明：

51年です。こことこことここが同じ歳です。

メンバー：

一緒なんですね。

真田 孔明：

あとはもういないね・・・76は。平城さんも一緒ですね。76。

北野会長：

51年？

サッチェル：

前厄なんですか？僕ら？

真田 孔明：

厄って厳密に言うと、人によって違うからね。

メンバー：

そうなんですか。

真田 孔明：

僕は厄じゃないよ。今年、人生の中での、2月から最も絶好調。

サッチェル：

あ、そう。

北野会長：

2月からいうたら、来月やん。

真田 孔明：

まだです。だから、今は温存してる。

サッチェル：

それは初めて聞いたね。厄・・・。

真田 孔明：

厄は人によって違うよ、わかるじゃん。あれと一緒にだよ。干支のあれと。

サッチェル：

厄年は関係ないっていうことか。

真田 孔明：

関係ないの。

サッチェル：

ああ、そういうことだ。

メンバー：

会長、新聞とかを読んでいると7月に衆議院・参議院のダブル選挙をやるみたいなのがあって、あそこまでは株価は上がるんじゃないかっていうのが、まことしとやかに言われているんですけど、あれはどうですか？

北野会長：

いやいや、そうよ、あんた言うたとおりよ、正直な話。年寄りに1人3万円ずつチップをあげるやる？あんた歳いっとらんから当たらんけど。こういうことだけやて、政治っていうのは票やから。いや例えばやよ、嫌な話。極端な話これが1万円になったと、ダブル選挙をしたと、自民党もあやふややから。全ての国民はそう思うよ。それでもお前、51対49で自民党が勝つかもしれん。所詮はそんなその程度。ところがお前、ダブル選挙をやる前にやぞ、26,000円ぐらいまでいってみなよ。あのね、株なんて持っとるのは失礼やけど、会社の経営者と・・・

真田 孔明：

お年寄り。

北野会長：

年寄りと、あぶく銭を持っとるあんたら若者でも、あんたらちみたいな者。これね、東芝やシャープやパナソニックに勤めとる人はそんなお金なんて一つも持たんが。

真田 孔明：

ですね。

北野会長：

あんたらち、同級生を見たってわかるやろ？俺のほうが持っとるよ、そうやろ？

真田 孔明：

26,000円まで上がったら全部の塩漬けが解消される 笑

メンバー：

すぐ入れますよ、自民党に。

北野会長：

だからそういうて考えればさ、選挙の前に・・・

メンバー：

バズーカー。

北野会長：

バズーカーやろがよ。こういう具合に読むべきでないか？お前ら、本当に、だから日経新聞を毎日、読んでいるの？

メンバー：

一応、読んでいます。

サッチェル：

なるほど。なるほど。確かに。

北野会長：

だから、今そういうことを考えきれなきゃ、己の頭でさ、ね。だから、前のめりにも、後ろにも駄目やて毎日これぐらい言っても、お前、実行せんわけや、お前らの場合は。

真田 孔明：

でも、次こそはちゃんともうね、余り買いを走らず。

メンバー：

そうですね。

北野会長：

会長のすごいのは昔この6,000円から、4万円まで上がったときには実はそんな買いでは、そんな薄切りしかしていないんですよね・・本当にね。それがほかの人と違うんですよ。僕はもっとガーガーってやっていたわけじゃないですか？買いで、そこを薄切りで・・暴落のときに会長1人だけ儲けていると 笑

サッチェル：

会長、次も白でいいですか？

メンバー：

赤にしますか？

北野会長：

赤もいいね。料理は何が出るの？

店員：

次はお肉です。

真田 孔明：

じゃ赤。

北野会長：

赤やの・・かわいらしいの。（店員さんに）

店員：

ありがとうございます。

北野会長：

お嬢さん。どういう名前ですか。

店員：

Sと申します。

北野会長：

S・・それ苗字じゃないの？名前って私聞いた。

店員：

Mと申します。

北野会長：

M。Mはいくつですか？

店員：

25です。

北野会長：

結婚を前提に・・・今日、何なら、リースタダですから。ワンデイ。ワンデイみたいなね。いやいや。あのね。このジョークも皆さんもこういうことぐらいは最低・・・

サッチェル：

勉強になります。

真田 孔明：

サササっと。

サッチェル：

サササと。

北野会長：

いや、株のね、辻斬りやとか、笠斬りなんていうのは・・・ま、僕は今、思うたんやけど。あんたらちにね、説明しとるよりも、やっぱり情報、でも情報発信するとさ、何か引っかかる。これがいいよとかさ。あれはどうせとかっていう、こういう情報が入ったりすると、人の金を預かったりさ、俺は絶対にそういうことはせんから。でも、あんたら見て失礼やけど、1年も話を聞いてって・・・1,000万ほど儲けた孔明で2,000万、儲けたやつはおるのかね？去年？誰もおらんが。お前、何かいつも黒い顔をして。全然、電波つながっていないの？携帯電話、持っているやないか。これもね、最初会ったときにさ、何かヘラヘラヘラと笑っとるので、何か桜の花びらが散るようにさ、すごいやつが現れたなと。すぐ資金ショートやからね。最近、全然、声、出とらんやん。

メンバー：

全然、駄目なんですよ。

北野会長：

そうやる？

メンバー：

今、ダメです。

北野会長：

最初に会うたときにさ、何か肩が回ってさ。

サッチェル：

回ってました 笑

北野会長：

軽い感じで・・

真田 孔明：

1日20万、抜きましたよね？

メンバー：

すごいですね。

北野会長：

本当？

メンバー：

夏までです。

北野会長：

夏まで。

サッチェル：

初月200とかですから。

北野会長：

おお、そうか。

サッチェル：

びっくりしましたよ。もう。ええみたいな。

北野会長：

いや、俺もだからビビってしもうてさ。お前、教えたお前、本人よりも習ったやつのほうが力強いんやから、俺もこうね。

サッチェル：

1回、コンペをやりましょうみたいな話になったじゃないですか？僕も頑張って結構、今月、いったなと思ったら、そこに新星のように現れて。200ですみたい。参りましたみたい。

北野会長：

俺はだから、さっきも言ったんやけど、本当はね、こっちは余り得意でねえ。こっちは最初に言ったとおり、食事代をどういうの？今日は上がり相場やから、3日下がった株はそこでバーっと1万株ほどずつ、俺の場合は1万株ほど入れておくやて。そしたら、2円か5円か、いい日は10円ほど上がるんやて、食事だけ。2万や3万で、お前、おショックスはできんやろうよ？ということを考えればやな、まあまあそれでも上がり相場やからええわと、いうのが俺の考え方。俺は待っているのは下がり相場だけなの。この話も、去年1年ずっと一応はしたんやけど。皆さんは何か無視しとる、わかる？無視やから。ほとんどバカにして。

サッチェル：

いえいえ。

北野会長：

知らないみたいのような感じやから。でもね、一番難しいのはこの無視したね、このね、この下がり相場を取るというのは、やっぱり難しい。

メンバー：

年初に売りに出たんですけど、やっぱり何て言うんですかね、ちょっと利益が出てすぐ手仕舞いしちゃって持ち続けられない。

北野会長：

だから、それっていうのはだからやっぱりでもね。そのほうがいい、そのほうが絶対に金に残る。

真田 孔明：

会長、ちなみに今回、連続で落ちて行ったじゃないですか？毎日。あのときっていつ手仕舞いしたんです？毎日、手仕舞いしちゃうんですか。

北野会長：

ううん。

真田 孔明：

違うんですか？

北野会長：

桜の花びらちゃさ、切れるやろ？ずっとこうやって落ちるがやて、ヒラヒラヒラと。俺の読みは1万円やった。花びらが1万円まで下がるなんてないかなと思って、その矢先に15,000円ぐらいでプラス280円。もう勘弁してよと。

メンバー：

去年、設計図の話をされていたじゃないですか？設計図はもうそうだったと。

北野会長：

いや、設計図は、だからそこまでやったけど、やっぱり未練、残すな、金、残せの男やから。やっぱり俺は死ぬのが一番嫌よ。だから、そこそこお互いに手打ちをしてさ、ギブ&テイクで行こうぜと。

メンバー：

最初から1回も手仕舞いしていないんですか？

北野会長：

そう、最初からずっと手仕舞いせんと頑張った。

真田 孔明：

あれ上がったとき、500円、上がったときは1回手仕舞いしているんですか？その前に。

サッチェル：

途中で1日、500円バコンって上がったじゃないですか？

北野会長：

売りを入れた、あそで。

真田 孔明：

でもここに、これで売りを入れていたんですよね？最初に・・・これは手仕舞いしてない？

北野会長：

上がった、500円上がったとき、その頂上で売りかけとった。

サッチェル：

さらに売りをかけた？

メンバー：

買い戻していないんですか？

真田 孔明：

買い戻していない。売り足したんですね？

北野会長：

売り足したよ。

メンバー：

売り足した。

サッチェル：

売り足したんですか？

サッチェル：

上がっていたときは我慢したんですか？

北野会長：

あこでぐっと・・・

サッチェル：

我慢して。

北野会長：

イケイケのところをこういかに・・・

真田 孔明：

ここで下がって行って、500円も上がっているじゃないですか？ここで下がってるじゃないですか？何で200、300で手仕舞いしたんですか？

メンバー：

それはすごすぎ。

メンバー：

そのとき500円プラスになったときに手仕舞わなくて、今回、手仕舞った理由は何ですか？

北野会長：

あ、今回ののは、あれはだから80円、80の画面にここにプラス80って書いてある、最初・・・ね。それが110円になった、プラス・・・先物が。左側を見とると、チカチカ変わるんやて。110ぐらいまでは、俺ね、ばかくさいことをする。あっちゅう間・・・思っと思ったんや。

メンバー：

ブランデーが。

北野会長：

ブランデーをグッと飲んだら強気やからさ、頭が回るとるし、強気やし。

真田 孔明：

何でそれで・・・

北野会長：

あれ、本当にね、150超えてから、ちょっと酔いが冷めてきたんや。210円を打ったときに俺は本当にもうレミーマルタンの酔いが全部スーっと下がっていった。

真田 孔明：

でも、不思議なのがですね、ここ200円しか上がっていないじゃないですか？ここ500円も上がっているじゃないですか？何でこっちで手仕舞いしないで、こっちで手仕舞いしたのかっていうのが不思議んですよ。こっちの500円のほうが大きく跳ね上がっているじゃないですか？

北野会長：

あれはこっちの500円は、あれは1回、衝動的な俺みたいなやつがおってさ、とりあえず1回先物を手仕舞いした、それは当然あるがやて。

サッチェル：

そこで手仕舞いしたと。

北野会長：

そうやる？

メンバー：

ああ、なるほど。

北野会長：

だから、明日からまた現物を売ってやろうかなというこの気持ちがあるわけ。

サッチェル：

手仕舞いして現金を集めて。

北野会長：

そうそう、集める。

サッチェル：

また、空売りかけてやろうっていうのが・・・

北野会長：

あのね。

サッチェル：

へえ、すごいな。

北野会長：

いつも言っとるけど、拳銃だけ持っとってもあかんが・・・弾を持たにや。

サッチェル：

手仕舞いして、弾を増やして。

北野会長：

そう。手仕舞いして弾を増やして、弾を打つが。これしか勝ち目はねえやから。

真田 孔明：

ここでは会長は弾を別に確保していないで、売りをさらに浴びせたと。

サッチェル：

すごいね。真似できないな・・・やっぱり。

真田 孔明：

直観だけで！だって500円上がっていて、こっち200円で、こっちで手仕舞いしていると。

サッチェル：

すごいね。

北野会長：

280円で俺、手仕舞いした。

真田 孔明：

こっちの500円は手仕舞いしないんですもんね？

北野会長：

しとらんが。

真田 孔明：

ええ。

北野会長：

ま、でもね。違うんやて。あれは五百何十円ね・・・先物が下がったんじゃないよ。あれ。上がった。俺が見とったのは180円ぐらいまで見とったんやけど、最後に510円も下がった。

真田 孔明：

2回、上がって。

サッチェル：

あ、先物は上がった。

メンバー：

先物がそれほど上がっていなかったの？

真田 孔明：

相場・・・

北野会長：

俺はそう思って。

サッチェル：

相場が始まってから上がったんだ。

真田 孔明：

そう、相場が始まってから。

メンバー：

今回の280円はもう・・・

サッチェル：

先物が上がっていましたからね。

北野会長：

そうやる。

サッチェル：

先物が上がっていました。

北野会長：

俺あれ・・・

サッチェル：

月曜日も今、上がっていますよね？先物ね？もう今の・・・

北野会長：

だから月曜日からどうかっていうから、月曜日から。空売りをやるやつっていうのはね、本当はね、本当は早漏のタイプなんやて、きっと。笑 これねビビるよ。これね、あれ持って行かれたら終わりやから。

サッチェル：

そうですね。

北野会長：

この空売りほどね、お前ら、俺の今まで人生、四十何年、相場をやってきてさ、空売りの怖さはね、やっぱ本に書いてあるとおりのがちゃ。あんなもん、反目を打たれたら終わりやから。反目を打たれたら終わりだ、ホンマに。これ津波みたいなもんやから。だから本当にそれこそね、きちんとやっぱり自分の判断ちゃ大事。反目を打ってさ、買戻しの金がないとかさ。この上がりでも、さっきも言うたけど、2,000円を超えて上がる日あったやから。例えばどこの県でもさ、20メートルを超える津波が来たらさ、まず半分ぐらい壊滅するみたいなもんでさ、効くがやちゃ。俺でも、だから900円丸飲みしたら、「今日は孔明、悪いけど腹が痛いから」笑

メンバー：

今日はいらっしゃらない 笑

北野会長：

これはパスせにゃあかんやろ？俺の勘ではよ。

メンバー：

細かいんですけど、会長が見られた売りを解消しようかどうかと言われている数字としては、9時以降の数字っていうのを先物の数字を・・・。

北野会長：

建物？

メンバー：

9時以降の数字。

北野会長：

これはだからいつもみんな、入れてあるんやろ？

メンバー：

あります。先物入れてあります。

北野会長：

そうやる？だから、それが一番大事でさ。先物を見とって、俺みたいにテレビを見とるやつもおるし、皆さんのようにさ、先物を見とって、やっぱりそこが・・・それさえ読めれば・・・今プラスになっているって？

サッチェル：

はい。何かすごいプラスです・・・先物。

北野会長：

あれ・・・やだね。

真田 孔明：

会長、今、ポジションを持っていないですよ？売りの。

北野会長：

俺。全部、売ってしまった。

真田 孔明：

すげえ。売りのポジション今、1個も持っていない。とっくに木曜日に全部、金曜日の朝に全部。それがすごいね。それ出来ないね、であそこで。

メンバー：

その夜の時間、9時までの時間帯のを見られているんですか？メインでは。

北野会長：

夜の？

メンバー：

市場が始まるまでの数字を・・・

北野会長：

俺はね、寝るまでこれを見ているの。枕元にこうやって置いておくやん。それでほ、電源を入れると、すぐに出るがやて・・・941円とかさ。

北野会長：

おい、金のあれかいやい、また280円プラスやぞ。

サッチェル：

そうです。そうです。先物上がっています、そうです。

北野会長：

ホンマや。

真田 孔明：

めちゃくちゃですね。

北野会長：

これでお前。

真田 孔明：

持ってたら。

北野会長：

売り玉を持っとってみれ。お前死なんならんぞ。

真田 孔明：

そこで。その判断ができてるのが・・・

北野会長：

これはひどいわ。

真田 孔明：

直観ってこれすごいね、やっぱ。

北野会長：

あのね、考えてね動くようになったらもう終わり、本当。俺の言い分や。考えて動くようになったらもう終わり。

メンバー：

売ってる最中って介入とか怖くなかった？別に余り気にしていなかった感じですか？

北野会長：

そういうこともあるけども。俺はずっと、俺の人生は。ほとんど直観でしか動かん。考えても俺の頭では、ね、俺の頭では考えきれるような話じゃない。だから情報をとったりなんたりしとるわけやけど。俺には知恵があるかっていったら知恵でもない。勘だけで動いとるやつやから知恵なんていらんがやから、勘だけ。

真田 孔明：

門が重要なんじゃないかと 笑

メンバー：

すごいな。

北野会長：

何か門が違ういうて、いつも言われるんだけど。

真田 孔明：

未来を読める。

メンバー：

買いは入れないんですよね？パンと上げたときの買いは入れないんですよね？あくまでも。

真田 孔明：

そこで何で買いが・・・

北野会長：

こうやって見たら、俺もだから今、280円プラスなら上がるいう印やろ？これ上がるよね？俺さっき言うたやん。月曜日から上がっていく。

サッチェル：

おっしゃってましたね。

北野会長：

何で上がるの？手仕舞いするがやから。

真田 孔明：

でも、そのときに買いは入っていないんですね？会長。何か買いが好きじゃないんですね？もともと・・・やっぱり。

北野会長：

買いはね。買いはさ、何かジワジワのちゃんの。

メンバー：

あ～。

真田 孔明：

買いを入れそうですね？金があったら。

メンバー：

入れますよね。

真田 孔明：

入れるよね、そこで入れちゃうんだよね。

北野会長：

でもね、さっきも言ったけど、買いなんていうのは所詮は・・・

真田 孔明：

所詮はって思わなきゃいけない・・・買いは。買いは所詮はって言わないと。

メンバー：

所詮はお遊び。

メンバー：

みんな学んだので、これだけ上がったらみんな買うんだろうなと思って1歩踏みとどまるようにはだんだんできてきているけど・・・

真田 孔明：

所詮は買いだ・・・

北野会長：

でもね、シャバで、ここにも書いてあるとおり、一番働かんと儲かるのは株のがやちゃ・・・株のが。例えばちょっとしても何億か儲かるわけや。ちょっとしただけで、ちょっとしたってiPadするだけやもん。笑 考えることなめとっかもしれないけど。本当は、iPadを押しとるだけなんやちゃ。これがね、給料は45%取られるが。iPadは20%程しか取っていかんがよ。だから、俺、iPadのほうが好き。

サツチェル：

そうですね。本当に。

北野会長：

ただそれだけ。だから最近は・・・だから会社はみんな社長がおるがやから。社長が一生懸命やっ取る。僕はiPadのほうに集中して、こう生きとるの。

メンバー：

木曜とか金曜に、投資信託とか買おうかなというふうに思わなかったんですか。

北野会長：

あ、俺、買った分、全部、今また、あのHIを買っとるんやて。

メンバー：

HIですか。

メンバー：

あれいいですね。

メンバー：

今すごい下がっているけど、250円キープ、昨日あたりの利回りを見たら。

北野会長：

お前、すごい・・・やっぱりお前、天才的なところあるわ。俺と一緒に意見やもん。

メンバー：

先々月ぐらいにおっしゃっていたじゃないですか。ACよりはHII。

メンバー：

そうなんですよ。ジョホールバルでおっしゃったんですよ。

北野会長：

言った？

メンバー：

そうなんですよ。ああと思って。

北野会長：

こんだけ頭がええんやから。俺は計算はしたことねえけども。未来が見えとるな。

サッチェル：

HIIっておっしゃっていた？

メンバー：

はい。おっしゃっていました。

北野会長：

本当？

メンバー：

へえ。

メンバー：

配当を考えたら全然、HIIのほうが高いんですよね。

北野会長：

本当？

サッチェル：

僕、何を買ったんだろう。

メンバー：

下落してるから、どっちを買ったらいいかわからない。

北野会長：

普通の人には迷うんやて。俺の場合は、何でもええんやから。利回りのいいものをどんどん買っていく。

真田 孔明：

信用を保全するために全部、手仕舞いしちゃいました。今、マイナス30万ぐらい。

北野会長：

でもやっぱりね、俺、さっきも言うってたんやけど、孔明さんが成功せん限り、あんたらちは成功できんでないね。何かほ、俺が言っても何か馬の耳に念仏でさ。あの酔っ払いが・・・いつも言っとるみたいなような感じやないかい。

真田 孔明：

でも、まだ今年はね、株をゼロの知識から1にしたと。

メンバー：

そうですね。

サッチェル：

会長は一生懸命いつもお話くだっているのに、全然生かしてなくて申し訳ないなと。

真田 孔明：

一回、次に塩漬け解消されたときには、もう僕たちは売りの剣士だって言いながら、量的・質的金融でどんどん 笑 1日2,000円！なったりして 笑

北野会長：

つき合って、もう3、4年ほどつき合っとるん。あのときに飲んだワインもっとおいしかったけど、このワインのこのまずさ、たまらんの・・・貧乏はしたくないもんや。

真田 孔明：

僕たちは、売りだ売りだと言ってるときにね。市場は「駄目だ〜」って。

メンバー：

ちょうどやっと弾が戻ってきて、こうきたところでバ〜ン 笑

真田 孔明：

バ〜ン・・・やりそうだよな。

メンバー：

200兆、入れたら1日2,000円いくかもしれない。

真田 孔明：

そう、
200兆。

サッチェル：

発表したらね。

北野会長：

200兆、入れる言うた瞬間にね、3,000円飛び抜け。

メンバー：

3,000円ですか。

北野会長：

最低2,000円や。俺は3,500円から4,000円の間やと思ってる。

真田 孔明：

ボ〜ンと。

メンバー：

日経買おう。

メンバー：

去年のあの一瞬のあれすごかったですよ？一気に1,000円バンって上がって、バンと下がって。

サッチェル：

12月のちょっとポロっといったやつだけど。

メンバー：

5分ぐらいのやつですよ。

サッチェル：

バ〜ンって上がったのありましたもんね。

メンバー：

ビビりましたよね。

北野会長：

わしらだから、二十一、二から相場をやっとるけど、1日だから2,500円ぐらい上がる日が普通にあった。

真田 孔明：

怖いですよね。それ。逆に考えたら。売りやってたら。

北野会長：

2,500円。だから、もう料亭に行って、「おい、おやじ、フグ刺しとさ、白子を焼いておいてくれよ。おやじ、今日いくら上がった？」「社長、今日はまあ、2,000円割れとった」「昨日は？」「2,800円、上がりましたよ」こういう会話が平常会話やからね。

メンバー：

2,000円上がりましたって、2,000円いかなかったっていう・・・

北野会長：

プラスが2,000円、ダウが2,000円しか上がらなかった。しかやらか。牛じゃない。しかやからね、あれ。牛じゃない、しかだよ。猪鹿蝶じゃないよ。

真田 孔明：

200兆とかどういうふうにして発表するんですかね？あれね・・・200兆。その前に大暴落とか来るんじゃない？

メンバー：

今の話だとそうですね。大義名分がないと放てないから、同じ・・・今回ぐらいのバンっていうの以上がないと放てない。

メンバー：

確かにね。

メンバー：

ということですよ、多分。

メンバー：

その上がるまで、マックスまで上がるのに半年ぐらいかかるって考えると今言っておかないと間に合わないんじゃないかなっていう気も・・・

真田 孔明：

選挙に？

メンバー：

7月だとして。

メンバー：

マックスまで上げなくてもいいとしたら、来月か再来月でもいい。

メンバー：

5月とか4月とか。

メンバー：

全然わからない。

メンバー：

結局、5月の賃金アップがどうのこうのというのの状況が、どうのこうのって言っているじゃないですか？そこら辺を見ているから多分1月はやらないんじゃないかなと思っているんだけど。でもサプライズ好きだから、わかんないなと思って。

メンバー：

春闘に合わせたいんだったら、春闘の前に。

メンバー：

前だと・・・

メンバー：

1回ポンと上げておくということですよ？

北野会長：

みんな、プラチナメンバーやったっけ？

メンバー：

はい。

北野会長：

だから、みんなさ、スカイプでさ、お互いにコミュニケーションを高めたほうがいいんでない？お前らの、俺の感じでは、1人の頭では俺の言っとることは絶対に理解できん。さっき孔明とユニゾンホテルで話をしとったら、そんなような気がしたわ。あの人はさ、俺が行けって言うたら、「僕、止まってます」って感じやから、いつも。すごいよね？全く動かんもんね。止まっていますって。「孔明行けっ」て言うたら、「止まっています」それがすごいちゃ。

サッチェル：

8月のときですよ？

北野会長：

そうそう。今日も聞いたら。

メンバー：

いなかったんですよ？

真田 孔明：

でも、あれ、信用のあれが、枠が下がってくると怖くて何も動けないよね。

メンバー：

本当にそのとおりなんですよ。

真田 孔明：

まだ初年度だから、生き残ることが重要です。売りってまだ、概念がね、まだわかっていないし、8月は・・・余り。今ならでも行ける気がするって・・・ボ～ンって1日2,000円みたいな笑

北野会長：

いいよね。今ならできる。

真田 孔明：

今ならできると言ったら、この量的・質的金融緩和 笑 っていうことはもう次にもう1回、大暴落が来る可能性もあるってことですよね？

北野会長：

でもね、皆さんに失礼やけど、これで皆さんと会って、これで2回目のがやちゃ。こういうことが起きたのが・・ね。こんなね、1年ごとにあるなんて恐らく今年だけやわ。ほとんどないんやから、そんなこと。

真田 孔明：

大暴落を狙っていても。

北野会長：

そんなにね、狙っていてもねえが・・波は来ないが。サーフィンをしに行ったけど、波がないもんでサーフィンができなかったというのが普通。行ったり来たり行ったり来たりチャパチャバってさ。だから、その分恵まれとるのか、その分・・はっきりわからんけど。

メンバー：

恵まれていますよね。

真田 孔明：

大暴落というのはどういうものなのかっていうのは、まだ始めたばかりのときにわかっていてよかったじゃないですか。あれ後になって億単位でやるようになってから大暴落の備えがなかったら、逆にヤバいですよね。

サッチェル：

ヤバい。ヤバい。

真田 孔明：

全部、買いでやっていて 笑

メンバー：

経験はできました、本当。

真田 孔明：

これが大暴落っていうやつだねっていう。感覚がわかると全然違うじゃないですか？

サッチェル：

2回経験しましたもんね。

真田 孔明：

2回も経験したね。

メンバー：

今回の年末年始。

真田 孔明：

でも、そのときに塩漬いている株を持っているだけでも、何か意識が違うじゃないですか？何もやっていないのと。

サッチェル：

だって生き残ったっていうね。それも死なないということで。

北野会長：

すごい、サッチェル。

サッチェル：

ありがとうございます。

北野会長：

すごい、生き残った。孔明は生き残った。葬式はまだやってない 笑

メンバー：

死んでいることを知らないっていう 笑

サッチェル：

会長がいつも歌を歌っていただいて・・・

北野会長：

俺はだからいつも・・・

メンバー：

釜ヶ崎。

北野会長：

あ、知っとる？すごい。やっぱり歳近いね。「命があったら死にせぬ」釜ヶ崎人情いう歌。これね、俺は高校時分にあの歌があったんやけど。顔中、傷だらけで、ひどい戦争もしたけど、やっぱり生き延びることが一番大事、生き延びることが。経済では。だから商売でも、俺の先輩が、先輩が俺にこう言うた。「お前ね、借金たくさんして、たくさんして、借金をたくさん積み重ねたら・・・」（店員が来る）なんちゅう名前か？Mちゃん。Mちゃん。白ワインを持って来てください。でも、あれちゃね。元本と金利を返していくと、企業はね、45%の伸び率がないとうまくいかんよ。だから、借金を返し続けようと必死に働くと、必ず死ぬよと。借金を返そうとして、必死に働くと必ず死ぬよと。僕の先輩は何人か俺にそうやって言うてくれた。

俺は、その先輩と毎日、一緒に酒を飲んどるんやけど、「先輩、何で返したんですか？」って言うたら、「お前、みたいな不良になりたくなかった」お前みたいって俺のことや。だから、真面目に返したんやと。そしたら、そのうち、何か資金が何か動かなくなって、氷ついて、手形を落とせんで、銀行から追い詰められて、何でその銀行に追い詰められたかいうたら、返せ、返せという言葉だけやった。俺なんかいつもそうやって言われとるけど。お前、どうしとるんやて。俺はないもんは返せんよって 笑

真田 孔明：

もしくは会長は海に逃げる。海と山に。

サッチェル：

会わないでね。

真田 孔明：

会わない。

サッチェル：

銀行と会わない。

メンバー：

実印を捨てる 笑

真田 孔明：

先輩たちは真面目に会っちゃったんですね？銀行マンに。

北野会長：

ああいうことをやっとする人はね、みんなね、失礼やけど俺も今は65やから昔は、あんたら以上の友だちはいっぱいおったよ。ほとんどね、これか倒産か、ほとんど実態が見えん、ほとんど。

真田 孔明：

本当にお亡くなりになっているんですか？もうこれは。

北野会長：

多いね、多い、多い、あれね、考え方が真面目やろ？やっぱりね、そういう人のほうがひどい。俺の場合ほ、皆さんが見ると一緒や、あやふややから。俺の場合は別にね、返すという気持ちがないタイプやから、バンバン持って来られ。

真田 孔明：

追い詰められてもハンコをなくしたと言え、サラっと言える 笑

メンバー：

確かに。

北野会長：

あれね、会社の実印がなかったらね、会社清算もできんよ。これを一言、一文字を知っとれば。

サッチェル：

本当ですよ。

北野会長：

全て対処できる。

真田 孔明：

怖いものない。

メンバー：

怖いものない。

北野会長：

これができるかできんかが。

真田 孔明：

またバブル崩壊みたいなのが起きたら、みんなのところに貸した金を返してくれって来るわけですよ？必ず歴史は繰り返すで。

北野会長：

そうそう。

真田 孔明：

そのときにまずは、第一弾として銀行に会わないと、海とか山に逃げると。万が一、捕まっても実印がないと。

サッチェル：

海に落としたと。

真田 孔明：

海か山に落とした。

サッチェル：

落としてきたと。

真田 孔明：

海に落とした。

北野会長：

あれね、会社清算も全てのものに実印がいるがやて、実印やよ。落としてどこへあっかわからんが・・・。

真田 孔明：

相手が作りましようかって言っても、嫌だ。

メンバー：

嫌だ。

真田 孔明：

これさえ知っておけば生き延びられると。バブルが崩壊しても。金融緩和の後、金融緩和は永遠にあるわけじゃないですからね。

サッチェル：

そうですね。

北野会長：

でもね、借金が増えるほど、増えるほど誰も取りに来る者おらんがやて。これが人間の実態やて。いやいや、皆さんが高利貸しをしとった。永遠に、永遠に孔明に銭を貸しとっと。孔明、永遠に利息だけどんどんどんどん払ってくれと。孔明は元本はいらんでしょ。利息は永遠に返しますよ。あんたにしたら、商売やっぱり最高や、俺が認めとるのはそこを言うとするわけよ。俺が言うとするのはそこを言うとするの。ギブ&テイクでいこうぜ。

真田 孔明：

あ、白ワイン。こっち。

北野会長：

済みません。

真田 孔明：

白のほうがおいしい気がします。

メンバー：

確かにですね。

北野会長：

お嬢さんがきれいやからよ。

真田 孔明：

僕も白もらえます、済みません。

店員：

グラスをお取替えいたします。

真田 孔明：

あ、このままでいいですよ。

北野会長：

いいやて。お前、チップでも払わんといかんの。言うだけやから。俺もほ、乞食とおかゆやから、中身は全くないんやて。ただ、一応、言うことだけは言うタイプやから。

メンバー：

会長、多分、皆さん結構、中学生レベルの話をしているんですけど、ちょっと小学生レベルの質問をさせていただきたいんですけど・・・投資信託。今、ACを買って。12月の上がったときに売りを逃しちゃったんですよ。下がっているじゃないですか？多分リアルが下がっているから、それで下がっていると思うんですけど・・・リアルが今、あの～。

北野会長：

今29.5ほど。

メンバー：

まだ持っていて、リアルが上がってくるのを待って・・・会長もまだカルテットを持たれているんです？

北野会長：

俺はACとHICと持って、今日、さっき言ったけど、朝見たらメールに6時5分に入っとった、メールが。HIC暴落みたいなこと・・・

メンバー：

はい。ACメール来ています。

北野会長：

俺ほ、内気、内向的やから、ボタンを押せんが。気、弱いやろ？暴落いうて書いてあったから、あ、暴落なのかなと思って。でもね、あれ売っての暴落やから。あれ売れば、こんだけの損が出ますよってデータベースから。買った値段と売った値段の配当金のだけなんやて、俺の勘で

は、何かブラジルリアルも、29.5か29ぐらい。今、オリンピックがあるがにさ。あのままでほっといたら・・・どう思う？だから、株もそう思えば。そう思えば。月曜日から買い時やろ？データがそうやって言っとる。プラス200、280、嫌な数字やね。嫌だね、嫌だね。ほんまに。もうひどいもんや。ほんまひどいんやて。先物、280円たら怖いで。

メンバー：

オリンピックぐらいまでは持っていてもいいかなっていう。

北野会長：

俺は。俺はだからそんなことをただ思うとるだけで。

サッチェル：

一緒ですよ。上がったらず仕舞いするっていうことですよ。下がったら買う。

真田 孔明：

あと年初か何かに、楽天証券から、何とかプラスっていうやつが出たんですが、新しい案件っていうのは出ていないですよ。特に？情報っていうのは。

北野会長：

楽天はね・・・

サッチェル：

東京のほうからは・・・年始の。去年はアACっていうのを教えていただいて。

北野会長：

今はほ、TBや。

真田 孔明：

TB？

北野会長：

聞いたことない？お前、前回も出とるんやろ？

メンバー：

出ていますけど、聞いていないですね。

真田 孔明：

TBって聞いたことありますか？

サッチェル：

あ、でもあります。楽天にはあります。

真田 孔明：

楽天にはある？

サッチェル：

TB。

メンバー：

ベアじゃない？ブル。

サッチェル：

ベアもありますよ。

真田 孔明：

それはいつごろ出たやつですか？

北野会長：

いや、昔から出とるやて、人と戦争するやろ？お前が反目を打つやろ？反目、反目を打ついうたら、殿を裏切る。ね。そのときにどういう方策を取ったらいいかなってというのが、TB。俺はだから、それはついこの間まで普通のベアやった。木曜日の3時までは、バットブラックベアになったんよ。俺が最強の男や、最強や。もしもし？電波つながっています？今、電波つながると、ものすごい難しいこと。この本当にたった一言やけど、すごい難しいやね。やっぱベアハンドちゃ、全然違う。ベアハンドちゃ、どういうの？一撃で殺しに行く・・・熊ちゃさ、一撃で殺しに行くタイプ。ブルは、ブル・・・牛よね。牛はモ～ウって言うとりやないかい。牛はあんまりね、物を殺さんが。あれはモ～ウ言うとりだけで。モウモウ、気持ちいよとかさ。そんなことを言とる世界が全然違う・・・本当に、全然違うよ。

メンバー：

すごい上がっています・・・TB。

北野会長：

俺。さっき聞いた時から、もうね、違うんやて。俺だから、月曜日からただ上がるだけやて。これね、俺みたいに空売りしとったものの、あんたらち、「お客さん、お客さん」

メンバー：

はい。

北野会長：

あんたらちみたいに空売りしとらんだもんに、この恐怖心っていうやつはわからんが。俺みたく空売りしとったもんちゃね。これわかるちゃ。

メンバー：

怖くて怖くて、しょうがないです。

北野会長：

しょうがない？ショウガはすり下ろしたら何か食える、そんなもんじゃねえから。本当にひどいんやて・・・このしょうがない。お前のね・・・「少年」そんなね、バカな一言で。

メンバー：

私も1万5,000円まで行くかなと思って売りかけていて、上がっちゃったから切ったたちなんですけど。

サッチェル：

売りかけていたんだ。

メンバー：

先物です。

サッチェル：

すごいね。

北野会長：

結構ね、この2人は、俺、最初に見たときから、感覚がええんやちゃ。

真田 孔明：

会長、月修門を指摘する・・・

北野会長：

人間ちゃさ、人間の雰囲気ちゃ、結構わかるもんやて、あれはだから一番・・・

真田 孔明：

月修門、月修門

サッチェル：

今年は会長、何か新しい案件みたいな、何か・・・去年の。

真田 孔明：

何とかプラスっていうのが楽天から出ているって言っていますけど。

メンバー：

TEプラスじゃ？

北野会長：

ああ、そうそう、そうそう。

サッチェル：

そういうお話は。

北野会長：

あるけど、俺はただ言うとりだけやから。もし去年の暮れも・・

サッチェル：

そう。去年は、ACの。

北野会長：

TEもACも清算している。今年は、2つは余り買っとらん・・今年になってからは、だから、どっちがいいかって・・ベアのほうが。だから、向こうは、どういう立場か言うたら、儲け過ぎても困る。損してもろうたらもっと困る、ほやから。

真田 孔明：

儲け過ぎたら何で困るんですか？

北野会長：

儲け過ぎたら俺がわがままになる。

メンバー：

比重が高くなっちゃう。

サッチェル：

なるほど。

北野会長：

そんなもんや。やっぱ会社から、うちの会社から顧問料をもらっとるわけやから・・顧問料。やっぱ、顧問料をやっておくと、飼い犬みたいなもんやから。うちへ入って来たらワンワンいうて鳴くが、犬っちゃん、犬っちゃんそんなもんよ。だから、顧問料とかさ、そういうものを払っ

とる人はきついい。それがね、人生はね、一番何かて、銭が全てさ。「銭が全てさ」みたいなもんで。これ嫌な話やけど、銭が効く。銭のない者が頼んでも、誰もウン言わんが。でも、銭が余っとる、俺の場合はいつも皆さんに言うとする。俺は余っとるのは銭だけやから。この一言で、人はみんな死ぬ。見てください。この愛の印を、あやふややけど。

真田 孔明：

愛はあやふや。

サッチェル：

恋は恋しい。

北野会長：

でも最近、何か俺の言うところを・・

真田 孔明：

みんな言い出してる 笑

北野会長：

何か恐怖心はあるがやて。「お嬢さん、白ワイン。いい？愛しとるよ。結婚を前提にね？嫌がっ
とるんじゃないかい。？もしもし？もう、後ろに下がった。前に出よ」一番、左の奥におるの
誰？

真田 孔明：

一番、左の奥にいるのはお名前は？

メンバー：

Mと申します。

真田 孔明：

Mさん、新しいメンバー。

サッチェル：

え、新しい方？

北野会長：

でも、何か危険な方じゃないよね。

真田 孔明：

危険な方じゃないですよねと、何をやっているんですかと。今日、初参加なのに端っこで可哀
想じゃないですか。

サッチェル：

初参加だったんですか？空いていたのにこことか。

メンバー：

雪で遅れちゃって、最後の最後に。

真田 孔明：

遅れてきたの？

メンバー：

はい。

真田 孔明：

何をやっているんですか？今？

メンバー：

一応、同業です。

北野会長：

あ、本当？

メンバー：

規模は小さいんですけどね。1000分の1ぐらいです。

北野会長：

あ、本当？

メンバー：

ええ。

北野会長：

薬局の商売はいいよ。

メンバー：

そうですね、固いですね。

北野会長：

本当に・・・俺、何か、結構やバイタイプかなと。

メンバー：

笑

北野会長：

俺ね、アホやから、別に聞いて反応するタイプでないから。先に自分で感じたらバンやから。昔、パンときて、人を刺したような男やから。勘だけで生きとる。勘以上は、俺には何もないが・・・本当に。

真田 孔明：

ドリンク、ラストオーダーです。ドリンクラストオーダー。ドリンクラストオーダーです。ボトルはお出しできないですけど、1本ぐらい・・・

北野会長：

ビール、ビール。ビールを。

真田 孔明：

じゃ、ビールの人。

メンバー：

はい。

メンバー：

じゃ白ワイン10杯。

メンバー：

あとスパークリングワインをください。

メンバー：

ビールを。

真田 孔明：

はい、ビール。ほかは？ラストオーダーですよ。

サツチェル：

スパークリングの方。

メンバー：

先月、見せていただいたじゃないですか？延長交渉というか・・・男の子と。あの1時間、延びないのかと、ビール1杯頼むから、どうにかならないのかと、あれが。

サッチェル：

ピッチャーね。

メンバー：

ピッチャーですね。あれがもう、本当に生きた勉強というか。

北野会長：

した女でも、まだしとらん言うて言えば。真実の一つだけ。

メンバー：

Oさんは、前回・・・回はどこ？

サッチェル：

東京です。

メンバー：

東京か、前回の東京も出たんですか？

北野会長：

全部、出とるよね。

メンバー：

はい。

北野会長：

彼は、違うんやて。

メンバー：

はい。

北野会長：

全然違う。彼はもう神経が悪人やから、悪のやちゃ、善人的なところ全くないんやから。

真田 孔明：

最近、オーラがよくなってきたと。会長おっしゃっていませんでした？

北野会長：

いやいや、オーラは少しよくなったんやけど、本心は一緒やから。どんだけでも、やんちゃするよ、これは。この男はね、あんたの100倍やんちゃする。俺はハワイで見たときに、俺がビビったもん。

サッチェル：

俺がビビった。

北野会長：

感情が、おお結構ヤバイなど。目ん玉を見たら何かキラキラと光っとる。でも行儀が悪い・・・行儀の悪さ。これはもうすごいもんや。俺はさ、別にあんたと話をして感じとるわけじゃなくて、パンと知り合った感覚の話やから。あのときに本当にそう思った。

メンバー：

ハワイでは、僕は1回目のトイレって帰ってきたら何かOさんが全部悪みたいな 笑 そのとき以来、そんなに話をする時間もないので。

真田 孔明：

今日、Mさんが来ていないです。

北野会長：

あ、本当?どうした?

真田 孔明：

わかりませんね。

メンバー：

どうしたんだろう。

真田 孔明：

来るって言っていたんですよ。それはキャンセルしている、既に。

メンバー：

すごい。Mさん。

北野会長：

誰さん?Mさん。

真田 孔明：

Mさん。

北野会長：

何しとる人なの?

真田 孔明：
Mさんは薬局。

北野会長：
彼？

真田 孔明：
はい。

北野会長：
俺と一緒に商売しとるの？きっと真面目、顔が・・・本当。

真田 孔明：
新しい、今日からの。

サッチェル：
急にスイッチ、入っちゃいましたね。

メンバー：
会長と話してから急に。

北野会長：
結構そういうことあんがやちゃ。

真田 孔明：
赤ワインはまだあるんですよね？

サッチェル：
あります、あります、ありますよ。

北野会長：
俺は酒は余り好きでねえけど、余っとるんやから、とりあえず・・・俺だけ飲んどるというような
感じやから。

サッチェル：
いただいています。

メンバー：
いただいています。

北野会長：

お前らの場合は、飲んでも実行犯でも、できんがやから。あとは諦めて、自殺でもせ・・・いやいや。俺から見たら、そんなもんや。お前ら、自分で自決して、自殺して死ぬ。俺は、生き延びる・・・俺は。俺の場合はすごいよ、パッカンみたいな。auでやっとなるやろ、パッカン。カッパ。

真田 孔明：

500円で売らないで、200円でも凄いよね、買い戻さないで。

北野会長：

あこで俺は、だから、上がった500円の日、俺は、明日売るがやて、バンと売ったんやから。

真田 孔明：

銘柄はいつもの銘柄ですか？

北野会長：

TとSBが一番。銘柄が高いから。

真田 孔明：

ソフトバンクが下がった。

メンバー：

下がりましたね。

真田 孔明：

下がった。買っちゃったんだよ。年末に1回。

メンバー：

ああ、そうですか。

真田 孔明：

あれを買わなかったからね。

サッチェル：

僕も買いました、買いました。

真田 孔明：

あれを買わなかったらね、余剰はあった。SBを買わなかったら、そこだと思っちゃって。

(店員くる)

北野会長：

はい。生ビール。

メンバー：

生ビールの人？

北野会長：

お姉さんなんて名前だっけ？

真田 孔明：

Mさん。

北野会長：

M！

店員：

はい。

北野会長：

結婚は前提どうした？ ユー、イッツ、オッケー？

店員：

大丈夫です。

北野会長：

大丈夫。

店員：

大丈夫です。

サッチェル：

はい。スパークリングの人。

真田 孔明：

スパークリングワイン。ここ意外に穴場だね、そんなに混んでいなくて。なかなか個室が見つからないんですよ、東京・・・この人数の。ここいいですね・・・雰囲気。

北野会長：

M！

真田 孔明：

今、何歳でしたっけ。

メンバー：

僕、31です。

メンバー：

結婚を前提に。

北野会長：

もうちょっとフォローしなきゃさ。もしもし？お客さん、それではお前、うまくいかんやろよ。やっぱり商売と一緒にさ。日掛け、月掛け、心掛けよ。まめによいしょにプレゼント、きれいですねとかさ。あやふやでも、あやふやでもいいが。でもね、言わんことには伝わらん、言わんことは伝わらんから、とりあえず、お嬢さん、おっばい大きいとかさ。例えAカップでも、Cカップですと。まあまあ言えば、お前、女は怒る女はおらん。あとは、やったあとは、君が一番締めりがよかったみたいなことを言っておけば、女もまあ腹は立たない。人間ちゃ、そんなもん。いやいや、あんたらちは、まだ若いから。いろいろなことを……。真実はみんなそう。こういう弱いメンバーと酒を飲んでも、ま、うまあないということがわかったわ。俺以上にね、この暴落に勝ったという人が……。チャレンジせえよ。五木ひろしも歌って、みたいなもんで。グッグっといかんやろがよ……。わかる？チャレンジやから、でも、こうやってみたらお前ら、全部俺には勝てんの……。勝てん。今のあんたらちの考え方では、俺には絶対に勝てん……。本当に。こんないい時期に売れんだいうことは。

メンバー：

いい時期なんですね、やっぱり。

メンバー：

会長、今日、奥様は？

北野会長：

今日ね、いねえやちゃ。

メンバー：

おお。

メンバー：

聞けるんですかね？今日……。尼崎。

北野会長：

いいよ、どこでも。

メンバー：

銀座ですよ。

北野会長：

これで行ったらお前。1人10万で・・・160万。俺はね、恥ずかしい話やけど、俺は銭余っとるから別にいいんやよ。でも俺はいつも言っとるやん、趣味はお仕事、道楽な貯蓄や。

サッチェル：

次が大事ですよ。

北野会長：

好きな言葉は。

サッチェル：

節約。

北野会長：

もう1個、教えてやる。

メンバー：

もう1個あったんですか？

北野会長：

もう一つあるんや。嫌いな言葉は特別。

メンバー：

特別？

真田 孔明：

特別ですか。

メンバー：

へえ。

北野会長：

嫌いな言葉は特別なんや、好きな言葉は節約なんやて。でも、嫌いな言葉は特別。

真田 孔明：

特別。

メンバー：

へえ。

北野会長：

お前らまだ、こんなね、辛い恋をしたことないからわからんがやて。辛い恋ちゃ、重荷にならん、重荷。オモニは中国語やけど 笑 そのオモニじゃなくて、重荷がまだあるわけよ。それぐらい経験が豊富やから、苦しんどるわけよ。本当に苦しんどるの。中国に行っても韓国に行っても、あんたの子どもを私、生みましたいう人が多いんや。いやいや選挙じゃねえから。立候補だけしとってもあかんよとね。DNA持って来い言うたら、誰も1人も持ってこんが。何でかわかる？ただ、騙しのテクニックやから、だから007かいと。最近、そうやって言う。女ちゃみんなそんなもん。純情な心と常に反比例を打つのは株も女も一緒。株も女も絶対に反比例。心が食われるっていうことは、一番危険やいうこと。

真田 孔明：

前のめりになったらダメだ。

北野会長：

こういうときに前のめりになると、大体、相場をやっても絶対に勝てんがやから。

真田 孔明：

株に愛を感じたらダメ 笑

北野会長：

株に愛を感じて、頭センジンピーやる？ニイハオ、ニイハオ。アニハンセヨ、金貸せよ。これは絶対に勝てんがやから。

メンバー：

はい。

北野会長：

女ちゃさ、男より体が小さいやろ？腕力も余りねえやちゃ。でも、今日までこう横におる女も生き延びてきとるいうことは、やっぱりそんだけ猿知恵があるっちゅうこと・・・賢い。

サッチェル：

賢いですね。

北野会長：

今のはまた違っとる。今はもう騙す、全然違う。イエス、ノーを簡単に使い分ける。昔の猿は、イエスだけ。今の猿は、イエスとノーを簡単に使い分ける・・・わかる？お前は、女にさ、「お前指摘たる？」って言うたら「女は、私してない」って言う。離婚するときには、「お前、してきたる？」言うたら、「私してきたらからあんたと別れたい」こう言う。これ、もうABCは、ABCはイコールじゃねえ。どこでも反乱は起きる。それはアメリカがアフガンに爆弾を落とした。次、イラクに爆弾を落とした、サウジに爆弾を落とした。あれと同じ。どうなのかな？ISとかさ、やっとなるのは誰か言ったら、オバマと、オバマとクリントン。

メンバー：

ヒラリーですか。

北野会長：

ヒラリーがやっとなる戦争なの。

メンバー：

へえ。

北野会長：

いやいや、あの貧乏人がお前、拳銃なんて買えるわけねえやろ？

真田 孔明：

そうですね。いっぱい持ってますよね。

サッチェル：

そうですね。

メンバー：

ISですか？

北野会長：

そうやろよ。だからISに武器を渡して、金をやっておくからISに来る者が多いわけや。あんたね、あんな貧困のところに、誰が拳銃なんて買える銭持っとる？

サッチェル：

確かにそうですね。

北野会長：

あんなもん渡したの、お前、オバマとクリントンだけや。

メンバー：

へえ。

メンバー：

ただ、トランプは結構、本当のことを言っているっていいことですか？トランプはこの前、それ言ったじゃないですか？

北野会長：

だから、トランプが今、世界中で一番人気あるのは、なんでやいうたら、トランプは正直に言うたわけよ・・・ね。何で、こういう事態が起きたんや。ああいう人を作ったのはオバマとクリントン。

メンバー：

はい。言っていました、言っていました。

北野会長：

そうやる？あれは何で言う？あれほ、失業者が入った会社のが。

メンバー：

失業者？

北野会長：

ISなんて失業者が給料やるから言う、みんな入っとった。

メンバー：

どうしようもない。

北野会長：

そうやる？お母さん、妹を助けんならんいうみんなISに入ったんや、給料が当たるから。給料出しとったのは誰かいうたら、誰だっけ。

メンバー：

オバマとクリントン。

北野会長：

それをトランプがこの前言うたわけや。

メンバー：

言いましたよね・・・この前。

真田 孔明：

あれはトランプ消されないんですか？ああいうことを言って。

北野会長：

でも、ああいうこと言うて万が一、消されたら、またね・・・。

メンバー：

あそこで、消されたらね。

真田 孔明：

トランプも力があるからね。

メンバー：

大したないらしいよ。

メンバー：

え、そうなんですか？

メンバー：

そんなに不動産王とか、そんなほどではないんですよ？会長・・・トランプは。

メンバー：

じゃ、トランプさんって大統領になれない。

北野会長：

トランプと俺とよく一緒の。

メンバー：

え、よく一緒？

北野会長：

力はねえけど借金が多い。トランプ、俺イコールやから。

メンバー：

トランプも借りて・・・。

メンバー：

会長、白ワインありますか？

北野会長：

すいません。俺はね、酒を飲みたくないんやけど。俺ほ、結局、内気、内向的やから酒は飲みたくないし。いや、本当やよ。俺の場合は、もう聞いて・・清く、正しく、美しく。世のため、人のため、自分のため。最近は今日から。お前ら、空売りもできんやったら、もう勇気、行動、実行。

メンバー：

勇気、行動、実行・・はい。

北野会長：

俺、この間、あんだけ皆さんに一生懸命さ。

メンバー：

はい。あの12月に伺いました。

北野会長：

説明したのに。

サッチェル：

空売りのお話は。

メンバー：

これから売りで儲けられなきゃいかんっておっしゃられてから1カ月で、3,000円下がったので。

真田 孔明：

塩漬けが解けたらね。次こそ売り 笑

メンバー：

ああと思っていました・・1カ月間。

真田 孔明：

塩漬けが解けたら、次こそ。

北野会長：

聞いた？これね、すごいよね。聞いたけど知らん。

メンバー：

はい、聞いていました・・確かに。

メンバー：

言うとおりにしていればいいんだけど。

真田 孔明：

塩漬しているから。

北野会長：

いや、俺もすごい・・・このメンバー全部すごい。誰も売って儲けん。帽子！お前だけ儲けたんでねえやがかい？

メンバー：

儲けています。いや、儲けてないです。

メンバー：

すごいな。

北野会長：

あれね、きっと儲けとるちゃ。

サツチェル：

投信に現れていますよ、儲けが。

北野会長：

自分だけは何か・・・

メンバー：

何かどんどん顔色がよくなってくるよね。

メンバー：

今日お祓いに・・・

メンバー：

あ、前厄だから 笑

メンバー：

会長、タイでは、決まっているホテルとかっていうのは？

真田 孔明：

タイはどこら辺をとります？タニヤの。2日間、でも一緒のホテルがいいですね。移動が大変なんで。

北野会長：

モンティエンが一番近い。

真田 孔明：

モン？

北野会長：

モンティエン。

メンバー：

モンティエンっていうホテルですか？

北野会長：

そうそう。

サッチェル：

モンティエン。

北野会長：

あとはね。

真田 孔明：

パンパシとかありますよね？パニヤの。

北野会長：

パンパシは高いんやちゃ。

メンバー：

高いです。

北野会長：

あれね、2万円・・・

真田 孔明：

タイに毎月、2回ぐらい行っていたんですよ。

サッチェル：

モンティエンがいいんじゃないですか？みんなモンティエン。

メンバー：

会長もモンティエンに泊まれるんですか？

北野会長：

俺は、20階まで上がるとるから・・・モンティエンは安い。パンパシはね・・・

真田 孔明：

高いんですよね。パンパシも近いんですよね？

北野会長：

帽子！お前、一番儲けたんでねえがかいよ？

メンバー：

いえ

北野会長：

お前、ほんまかいよ。

メンバー：

本当にもうチビチビなんで。

北野会長：

チビチビ。損したわけ？得したわけって・・・

真田 孔明：

損したのか、得したのか？

メンバー：

とんとんですよ・・・とんとん。

北野会長：

ああいうね、これね、この嘘つき・・・嘘つきと、キツツキは必ずあんなことを言うがやちゃ。

サッチェル：

株の流れはわからないけど、今のはわかりましたよ 笑

北野会長：

わかったやろ？ 笑 あれは。あれは嘘つきやと・・・あれは嘘つきやわ・・・とんとん。

サッチェル：

今、通信できました・・・会長の 笑

北野会長：

そうやる？あれはね、嘘つき。でもさ、普通の人にはさ、損すりゃ怒りがあるやる？なんでお前1人だけ笑っとる。1人だけ何か帽子をかぶって笑っとるやん？笑っとるやん？お前さっきから。

メンバー：

目が笑ってる。

メンバー：

会長にはわかる。

サッチェル：

先祖がおっしゃっている・・・会長の。

北野会長：

あれはおかしいよ。

サッチェル：

おかしい。

北野会長：

座ったときから何か帽子をかぶって、何か人をバカにして見とる。あれ、あれね、損した人間にはああいう態度は絶対にねえから。この悪者でさえ、そういうことはできん・・・本当に。失礼やけど、そんなことできん。あれはだから結構、悪者。みんなで処刑せんにゃあかん。結構ね、人間ちゃそんなことよ。信じとる者に裏切られたり、信じられない人に救われることもあるがやちゃ・・・

メンバー：

生命力が強い、生命線がめちゃくちゃ。

サッチェル：

長い 笑

サッチェル：

会長、長い生きしていただかないと。

メンバー：

そういうのを見れるんですか。

メンバー：

見れない人でもわかるぐらい。

真田 孔明：

パワーがね。

サッチェル：

パワーが違う。

メンバー：

私、冷え性でしょ、知っているよね・・・もうね。

サッチェル：

知らない。

メンバー：

手が冷たい。

サッチェル：

手冷たいって言ってた。

メンバー：

私。

サッチェル：

あ、冷たいね。

メンバー：

冷たいでしょ。もう横に座ったときからね。

サッチェル：

暖かい。

メンバー：

暖かいの・・・

真田 孔明：

違うでしょ？会長、エネルギーが違うんです。

メンバー：

イケイケバンバン。

北野会長：

俺の場合は、ただのアホやから。

サッチェル：

いえいえ。

北野会長：

ほんま、俺はアホやる？お前ら、全部覚えておけよ。俺はアホやから・・・ほんま。

サッチェル：

こういうソサエティーをやっていただいて、僕たちは感謝しているんですけど。

北野会長：

感謝する必要はねえやる。

サッチェル：

いえいえ。いえいえ。

メンバー：

それは・・・

北野会長：

お前らみんな、あやふややから。

メンバー：

まだ、慣れていない。

北野会長：

感謝することはねえやろうよ、アニハンセヨ。

北野会長：

金、貸せよ。

メンバー：

音声でちゃんと勉強を 笑

北野会長：

あとは、勇気、行動、実行力。でもね、ここで脅かされて払うやつが一番の終わり。

メンバー：

ああ、なるほど。

北野会長：

俺の場合は、脅されても明日、明日、明日、払う。明後日、払う。

真田 孔明：

お会計で。

北野会長：

でも、皆さん、覚えておいてよ。プラスチックがおあいそをするがやから、プラスチックの・・・プラスチックや。アニハンセヨ、どういう名前やったっけ？

真田 孔明：

Mさん。

北野会長：

M、結婚を前提に・・・。

真田 孔明：

領収書はい・・・普通に。

店員：

上様でよろしかったですか。

真田 孔明：

はい。

北野会長：

上様ちゃ俺。俺は天皇やから。上様ってよく昔は言われとった、上様やから。上、上やから。

メンバー：

済みません。領収書は会長、上様でも切られて・・・

北野会長：

全部一緒や、あれね、カードで落とんやから。

メンバー：

別に何て宛名を書こうが・・・クレジットカードでってということなんですか？そういうことなんですね。

サッチェル：

カードは全部、経費だから。

サッチェル：

福利厚生費。

メンバー：

その場にいたんで・・・ジョホールバルで。

サッチェル：

ジョホールに行ったときに。

メンバー：

あれがすごい勉強になりました・・・僕。

真田 孔明：

会長、済みません。サインをお願いします。

北野会長：

俺けえ。

メンバー：

あ、こちらです。

北野会長：

どこにサイン？これかい。

真田 孔明：

あれ領収書ほしいんですけど。

北野会長：

帰ろうよ。

真田 孔明：

はい。済みません。ありがとうございました。

メンバー：

ありがとうございました。